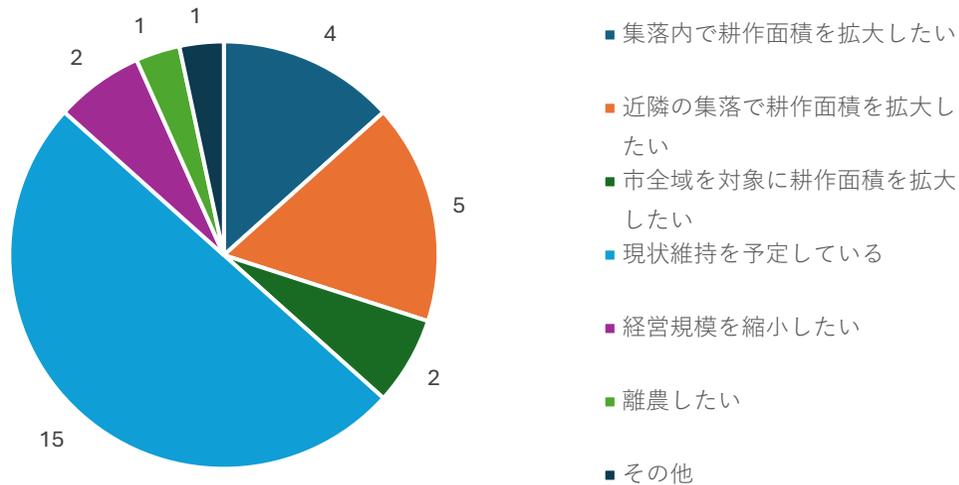


担い手農家対象アンケート

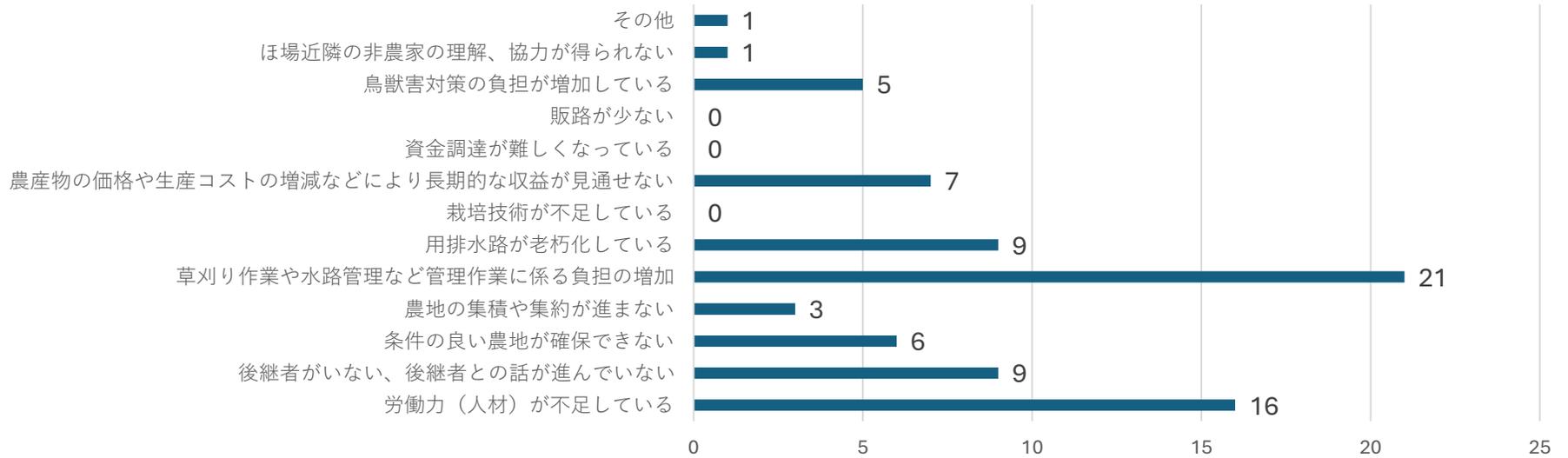
	送付数	回答数	回答率
担い手（法人・個人）	62	31	50.0%

認定農業者（集落営農組織を除く）、認定新規就農者を対象にアンケートを実施

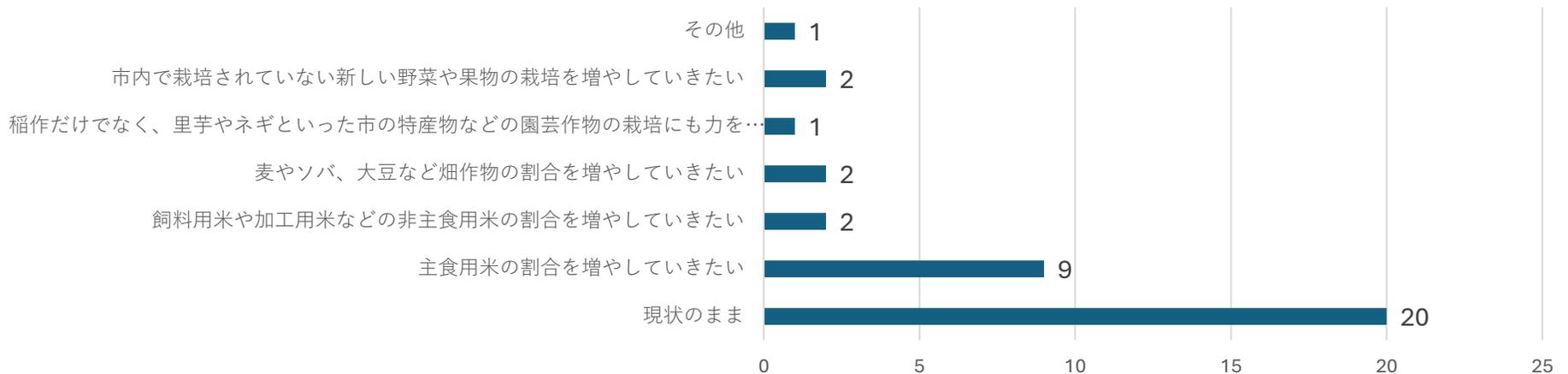
今後（概ね5年以内）の経営規模の
拡大または縮小について



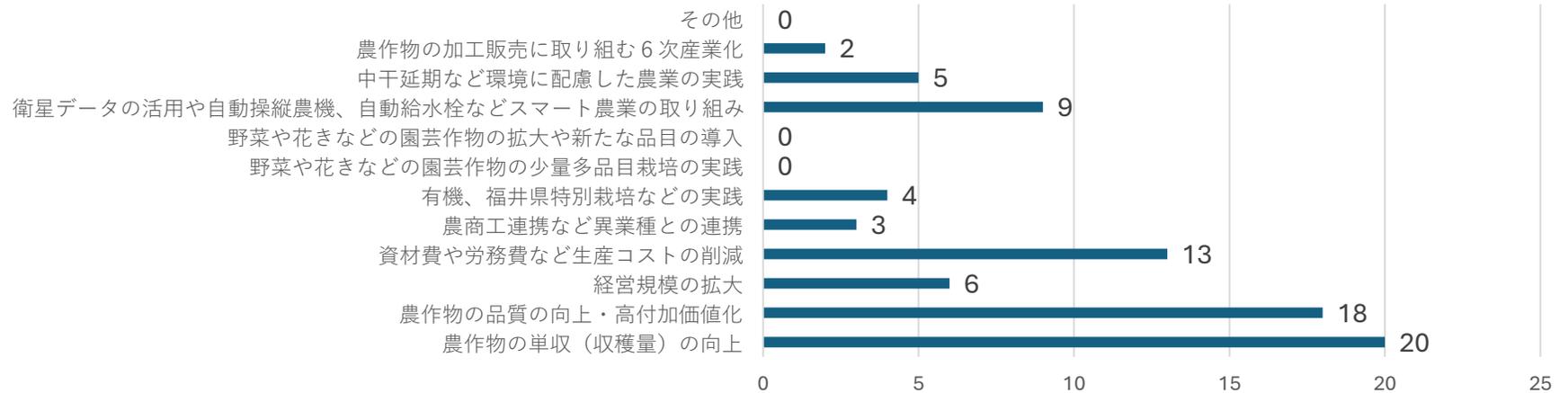
農業経営の課題、不安



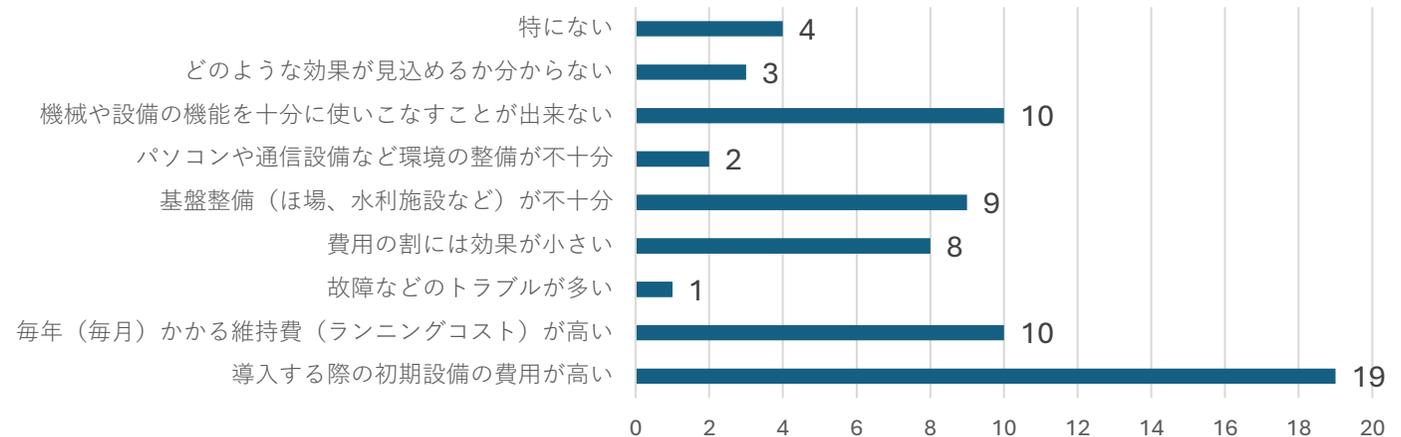
どのような作物の栽培を考えていますか。



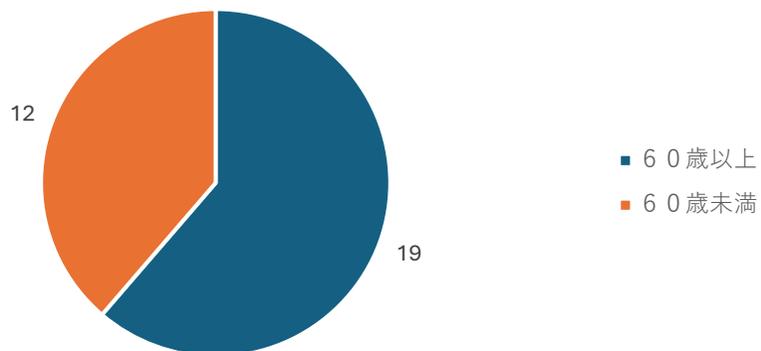
伸ばしていきたい方向



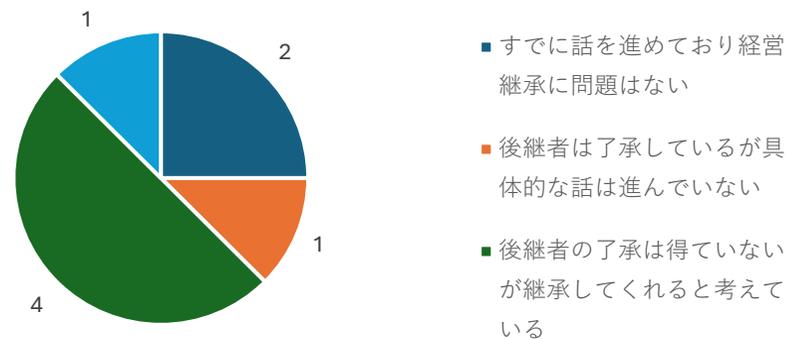
スマート農業に対する課題、不安



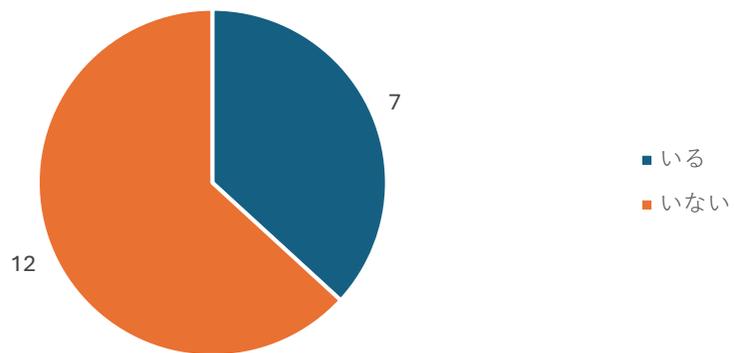
主たる経営者の方の年代



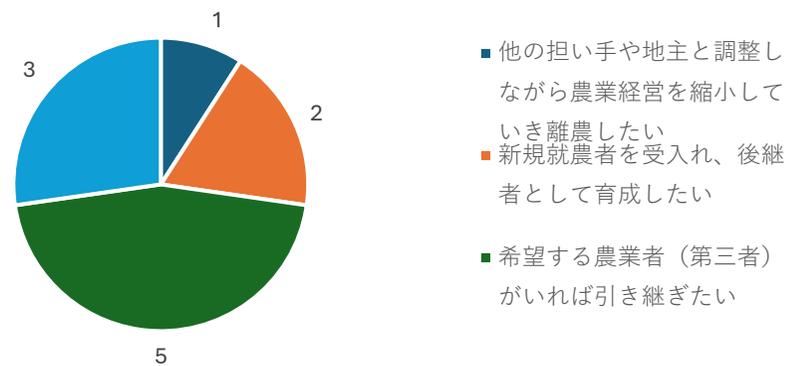
後継者と経営の継承について 話し合っていますか。



農業経営の後継者はいますか。



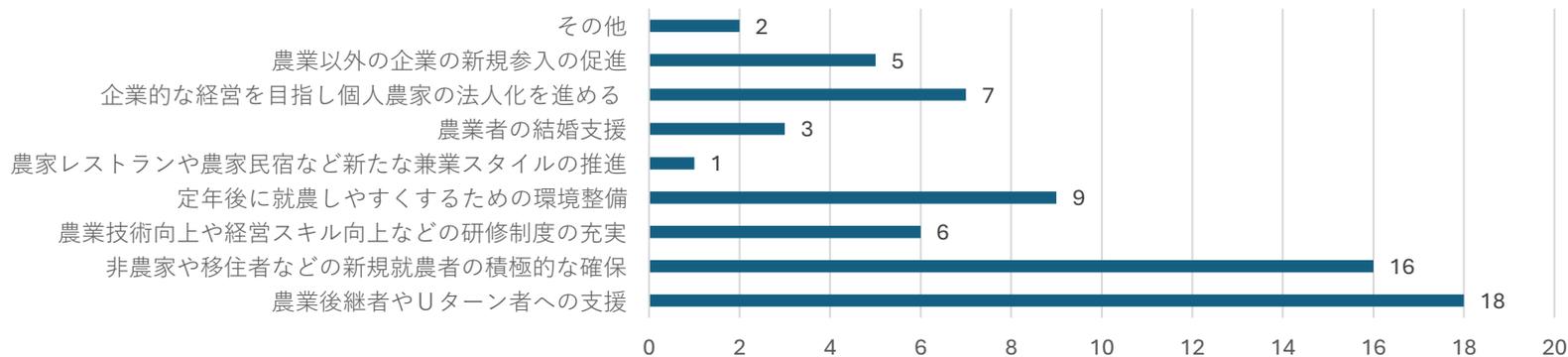
将来、農業経営を どのように考えていますか。



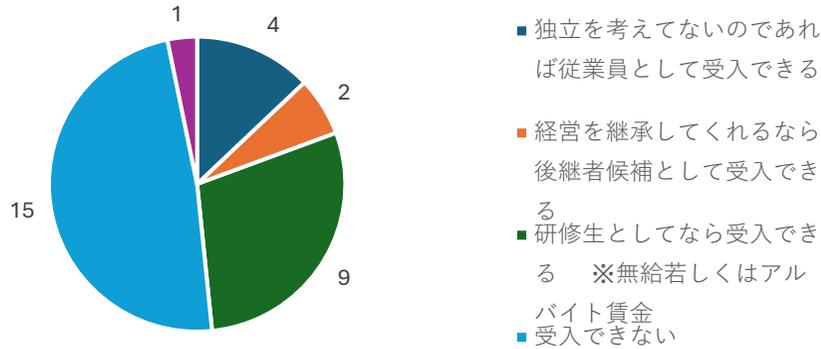
スムーズな事業継承に必要な重要な支援



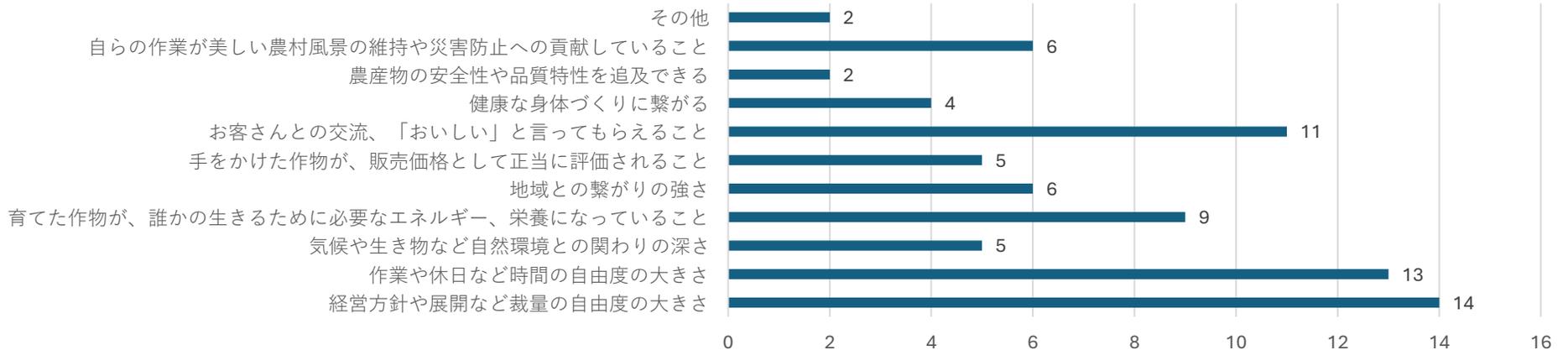
地域の担い手の育成、 確保に向けて必要なこと



新規就農希望者がいた場合、
研修先として受入（雇用）できますか。

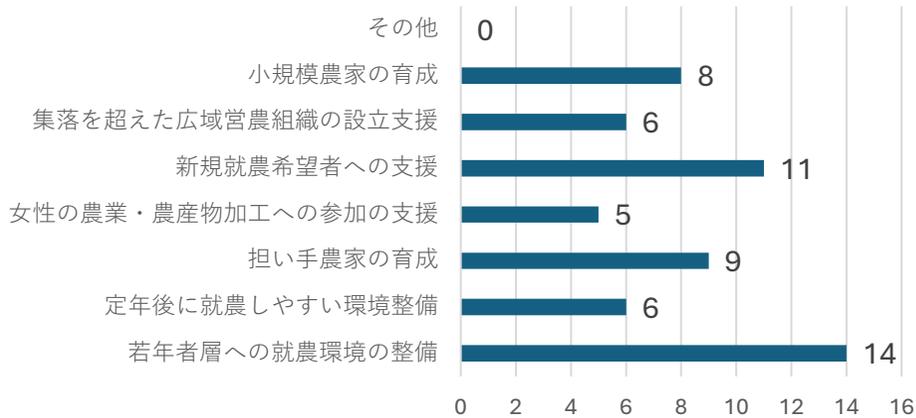


伝えたい（感じている）農業の魅力

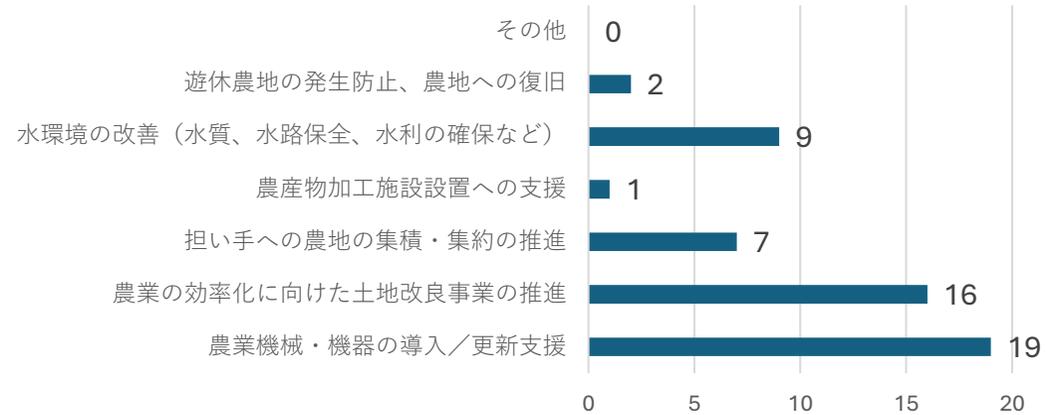


「地域農業の活性化」について

担い手農家・後継者育成について



基盤整備について



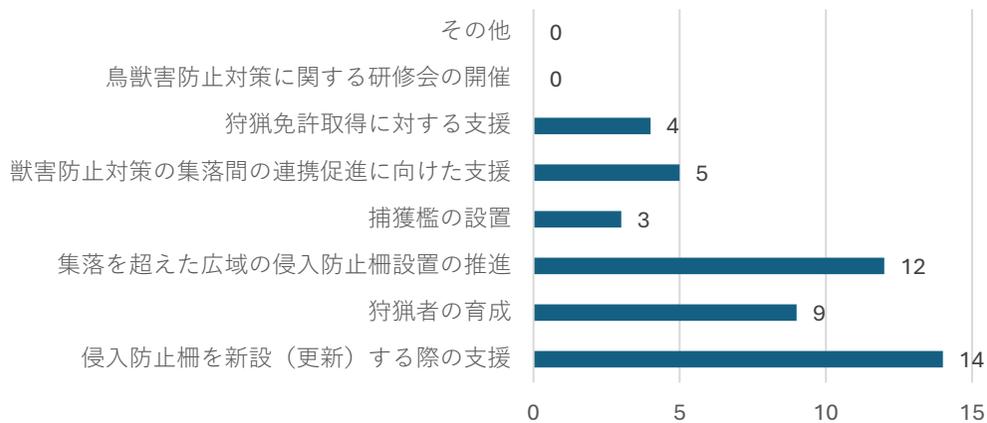
営農支援について



販売支援について



鳥獣害防止に対する支援



「地域農業」や「担い手確保」に関して、お困りごとや対策のあり方などについてご意見

・中山間地域の補助金等有るが 町中の圃場整備されていない場所の耕作依頼が増えている。町中地域の補助金も中山間地域の補助金同様に出して欲しい。今まで申請しても中山間地域で無いので通らない。

・融資の形を自由度のあるものにして頂きたい。農地を活用する意識の値付けをして頂きたい。（農地を大切にしなすぎている）

・現在バラバラに耕作している農地を1か所に集積すると効率よくコストも下げられると思いますので市役所の力で協力をお願いします。

・① 1年間を通した農業経営のモデル経営の指針

②大野の雪を考慮した農産加工他野菜工場、施設園芸等のモデル経営

③農業所得の弱点は1年に1回の米販売金等、収入に安定性がない。年間を通して所得月の経営計画が出来れば良い（異業種からの経営相談・支援）。

・水路の老朽化が深刻です。加えて、地域の若年層の減少により、用排水の泥揚げ等管理が難しくなっています。また、夏の水不足も昨今の猛暑では非常に問題になっており、ポンプによる水の確保も必要なレベルです。圃場内の管理はなんとかありますが、インフラの維持が大きな課題かと思えます。

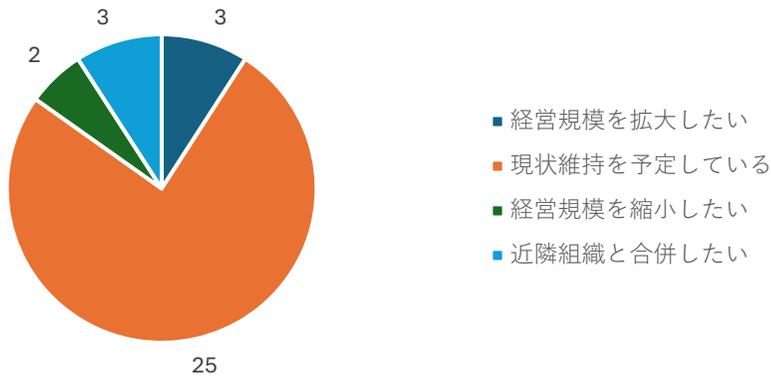
・鳥獣被害が年々酷くなってきており、これまでの対策では限界がきているので、新たな対策を考える必要がある。

集落営農組織対象アンケート

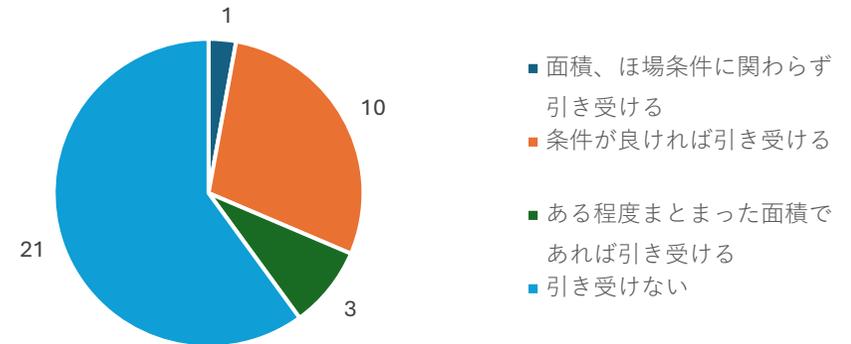
	送付数	回答数	回答率
集落営農組織	45	36	80.0%

集落営農組織（法人、任意組織）を対象にアンケートを実施

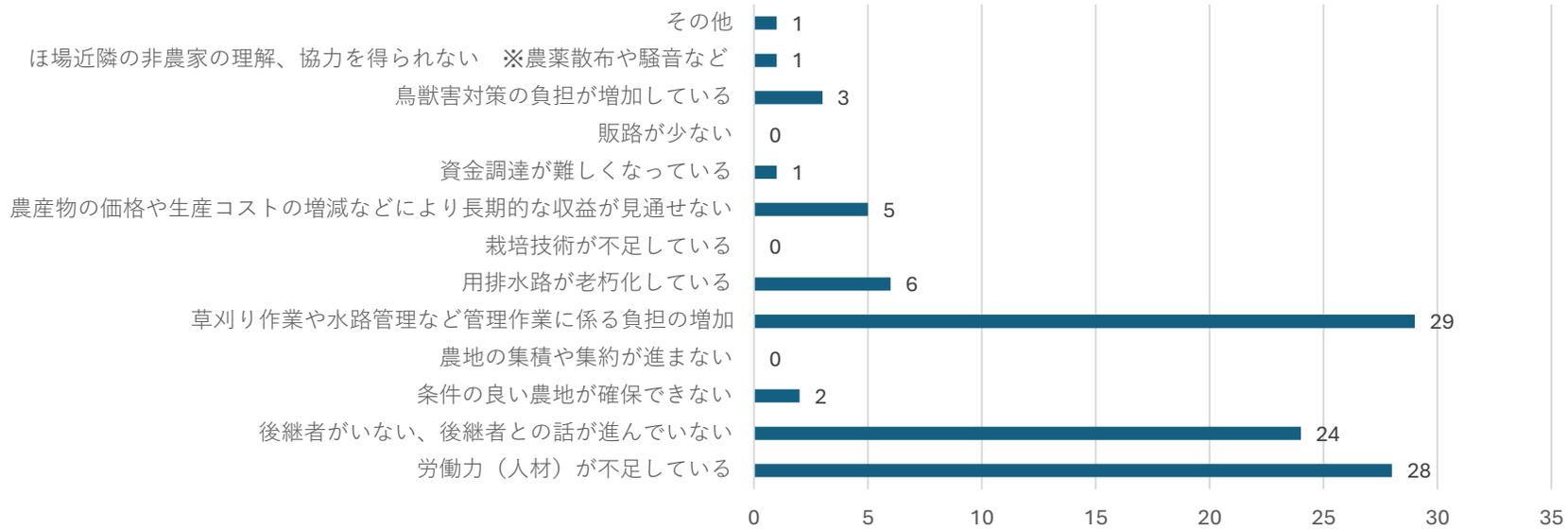
今後（概ね5年以内）の経営規模の
拡大または縮小について



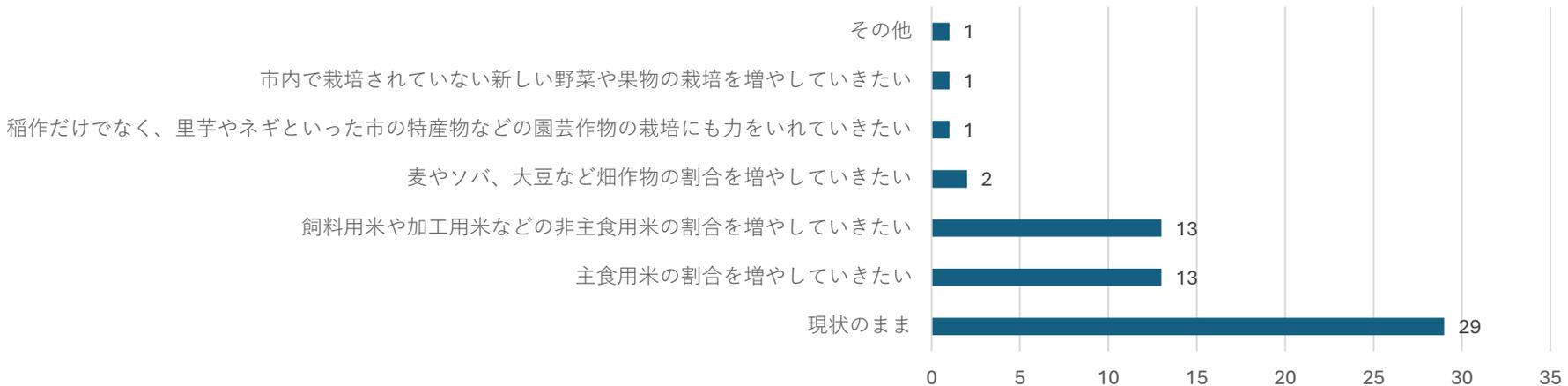
近隣集落から農地の引き受け依頼があったら
引き受けますか。



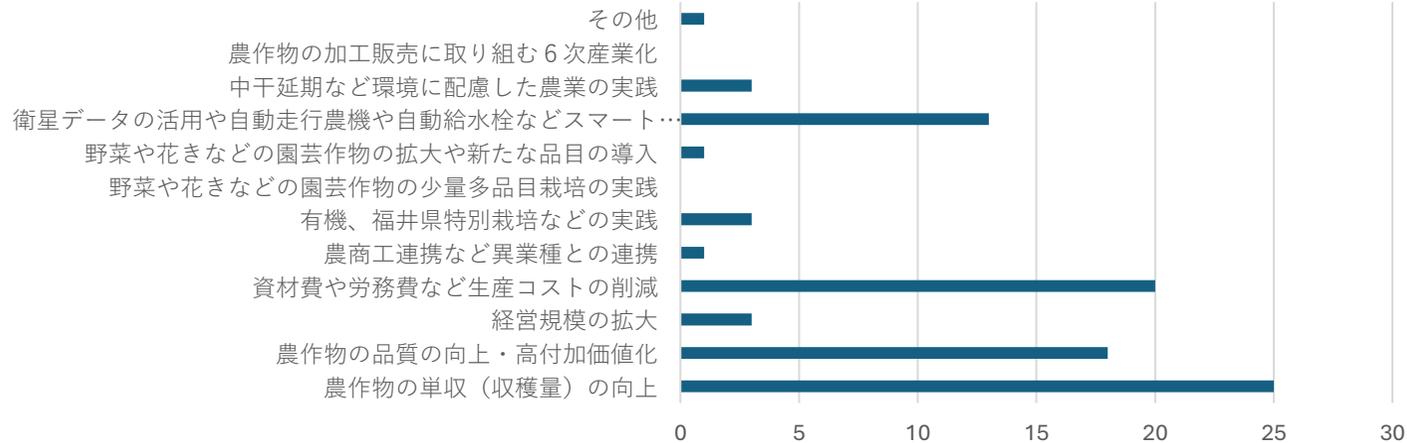
農業経営の課題、不安



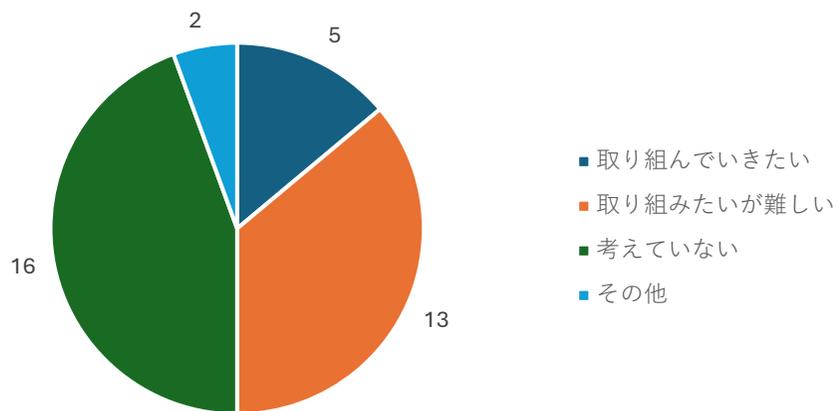
どのような作物の栽培を考えているか



今後、伸ばしていきたい方向



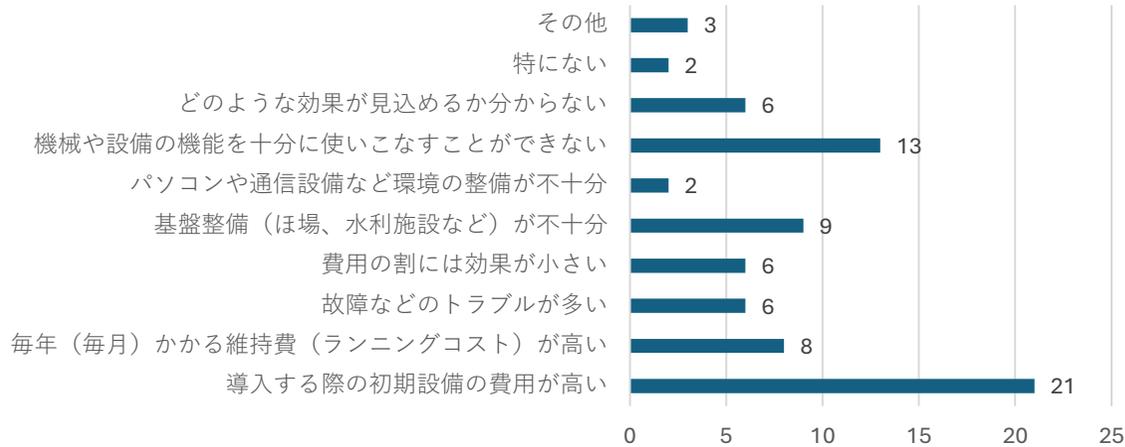
集落営農組織の広域化について



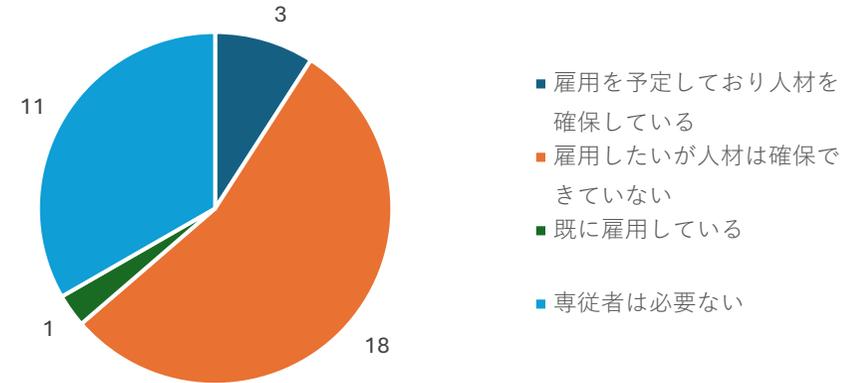
＜集落営農組織の広域化についての考えや課題＞

- ・営農組合の後継者がいない為、2年～3年の間に組合員と十分協議したい。
- ・集落営農組織では1年を通して働ける人材が急激に減少。今後10年以内に経営を継続することが困難となる。集落営農組織の合併等では、広範囲になり圃場もまとまりが無い分ロスも大きく、当組合では不可能。
- ・広域化は必要と思いますが、各組織がかかえる負債や人手不足が一番考える事やそれをどう解決するかわからないので行政による相談の窓口を開設してほしい
- ・大野の各生産組合が経営規模を拡大し、一つの組合が各雇用（従業員）数十名の人員をはかり、一大企業となり、大野（福井県・全国）の食・自然を守りたい。
- ・現時点では組合単独での事業継続を模索していますが、これが困難な場合は広域化も検討する必要があると考えます。
- ・条件が合わないのが問題になっている

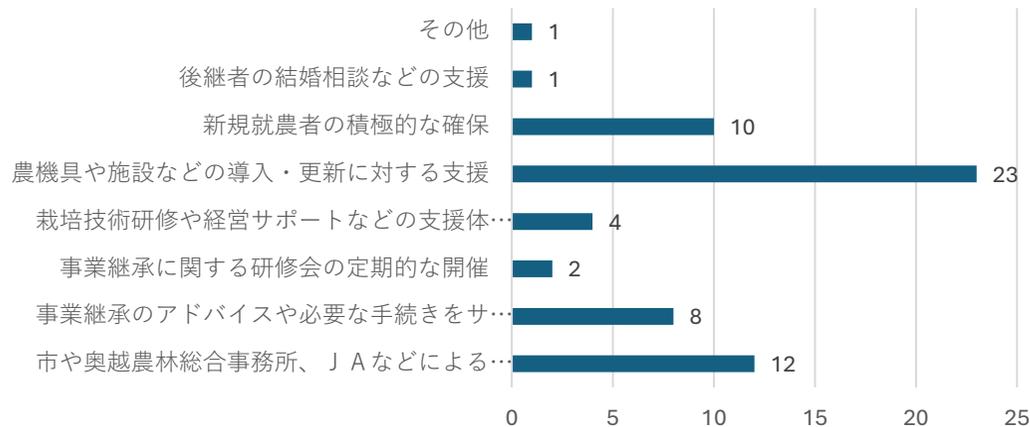
スマート農業に対する課題、不安



専従者を雇用する予定



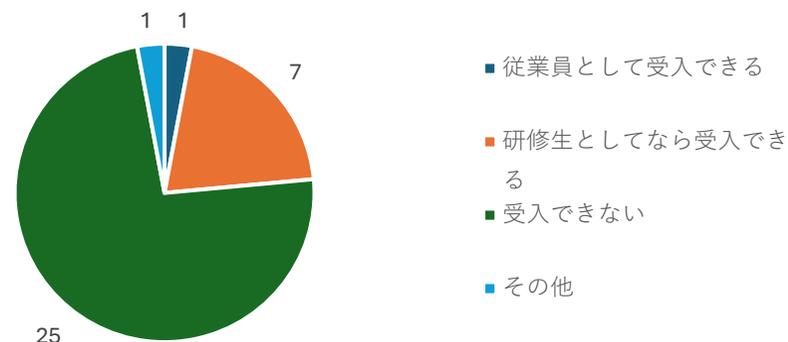
事業継承（世代交代）に必要な支援



農産物や加工農産物についてどのように販売していきたいか



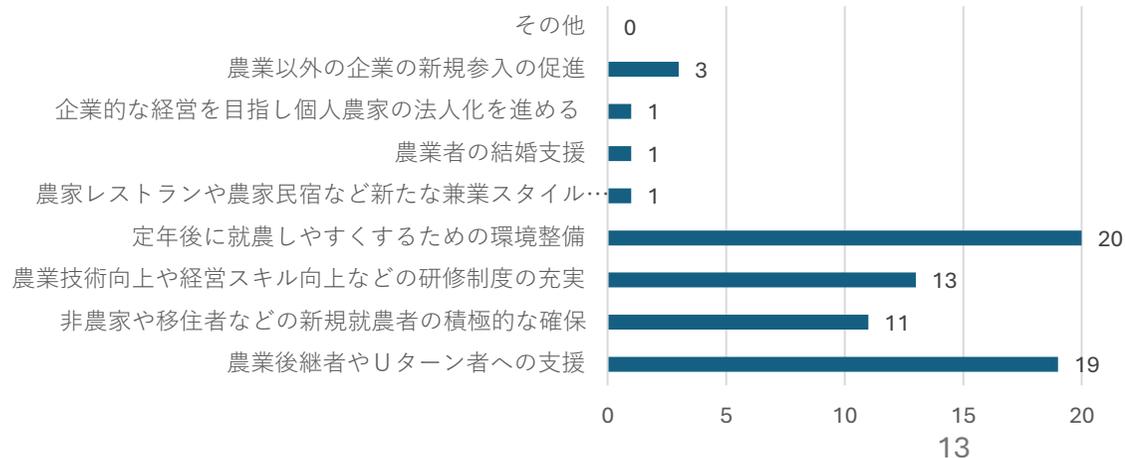
新規就農希望者がいた場合、研修先として受入 (雇用) できますか。



今後 (概ね 5 年以内) 販路を拡大したいとお考えですか。

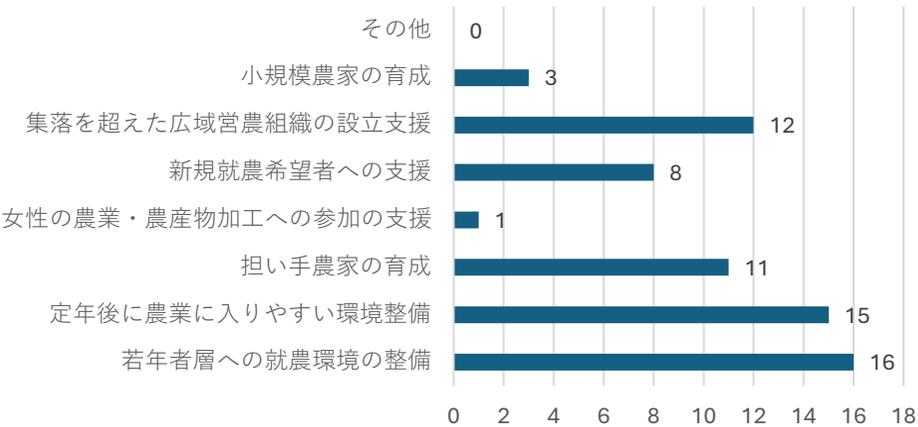


地域の担い手の育成、確保に向けて必要なこと

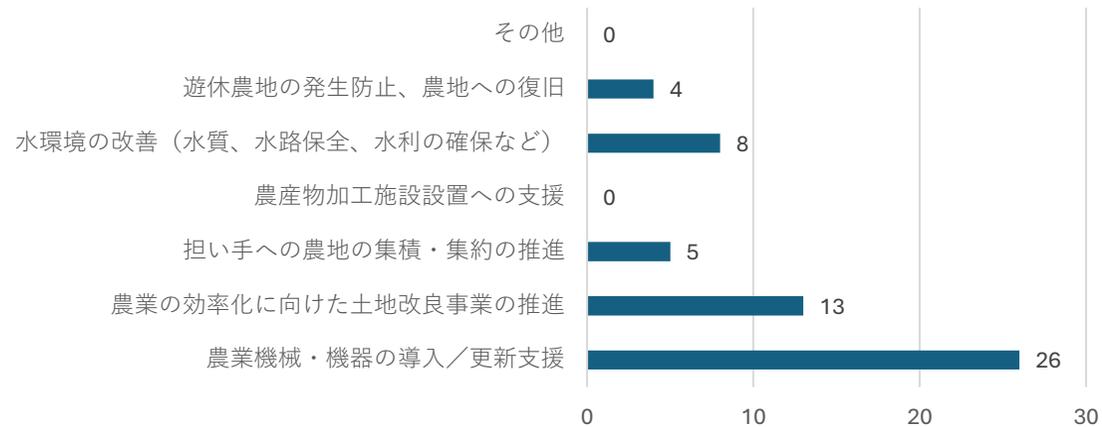


「地域農業の活性化」について

担い手農家・後継者育成について



基盤整備について



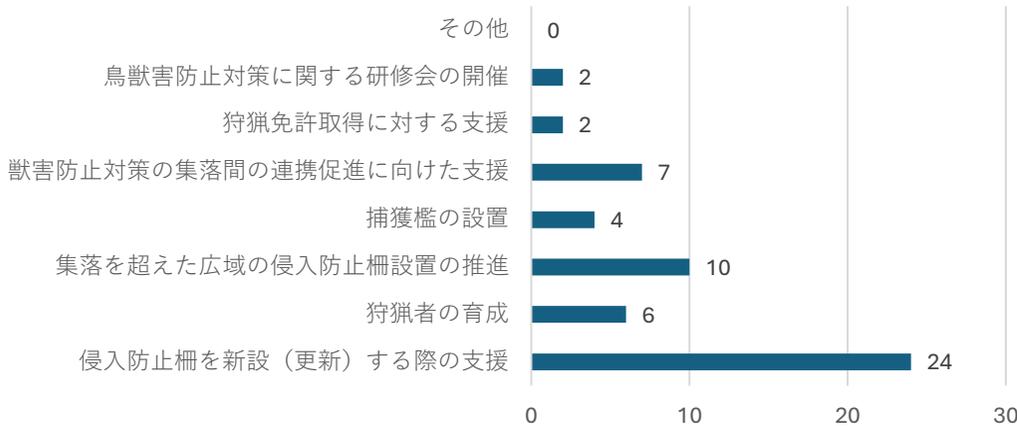
営農支援について



販売支援について



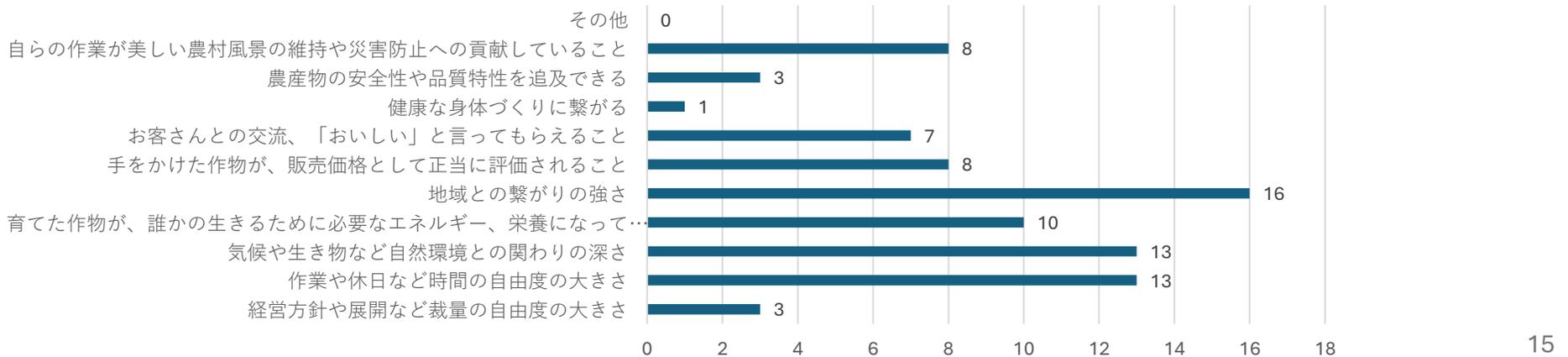
鳥獣害防止に対する支援について



「地域農業」や「担い手確保」に関して、お困りごとや対策のあり方などについてご意見

- ・①定年延長、終身雇用などで農業人口が減少。
- ・②農業収入だけで生活できないと人材確保が難しい。
- ・③組織的で年間を通しての農作業が現在はない。
- ・④年金受給者以下で、若年層の仕事が見つからない。できれば支援などをお願いします。
- ・組合員全員が70才以上で子供のほとんどが県外及び県内に出ている。
- ・今年より50代前半の若手組合員の専従希望者が現れたが、手当（給与）・業務量共に少なく、本人が満足出来るだけの対価を支払う事が出来ず、専従はありがたい事ではあるが、専従としての雇い入れは難しい。
- ・若手の人材不足。
- ・現在、県、JAの事業により、組合の運営についてアドバイスをいただいております。大変ありがたく感じています。

伝えたい（感じている）農業の魅力

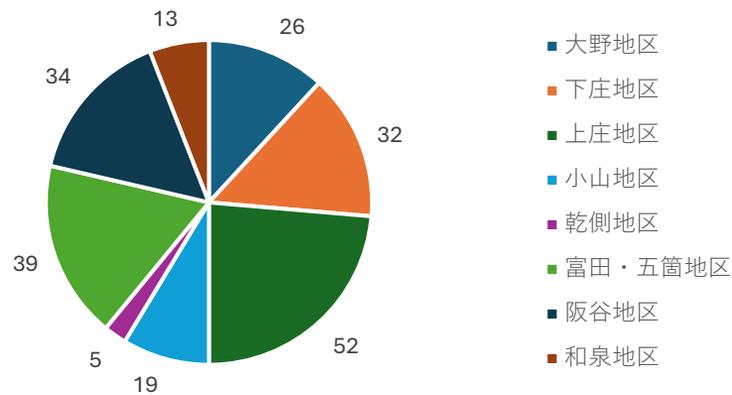


農業者対象アンケート

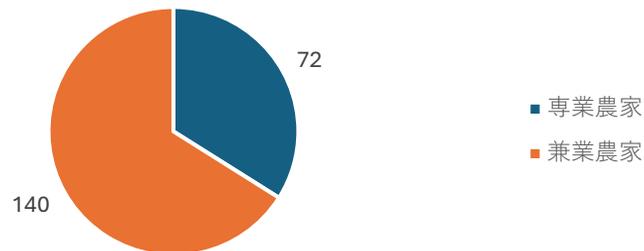
	送付数	回答数	回答率
農業者	372	222	59.7%

農家組合長、各農家組合員2名を対象にアンケートを実施

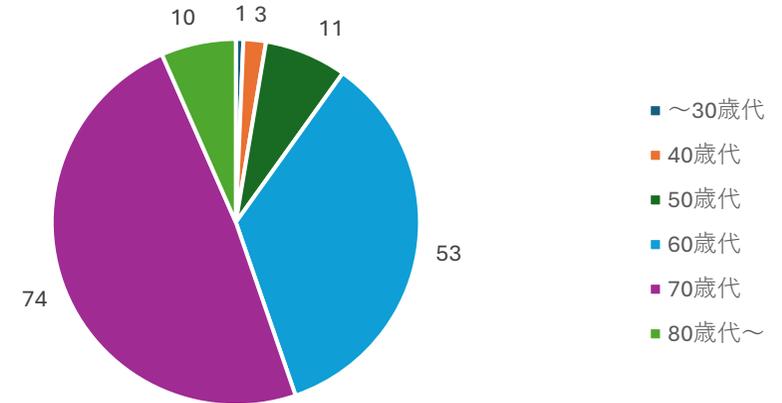
回答者居住地区



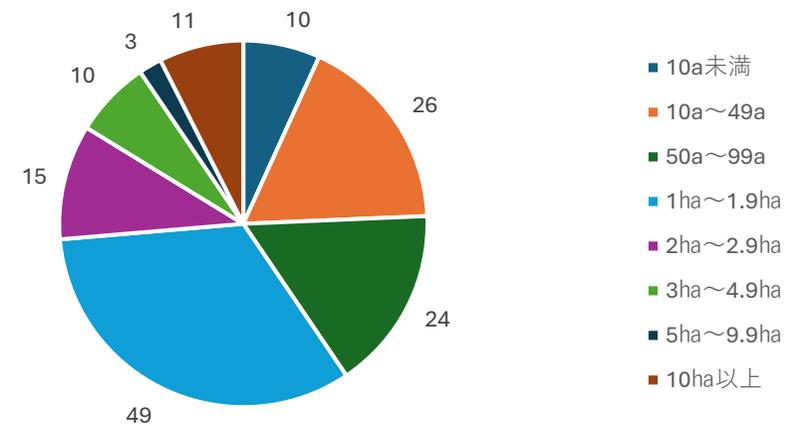
営農形態



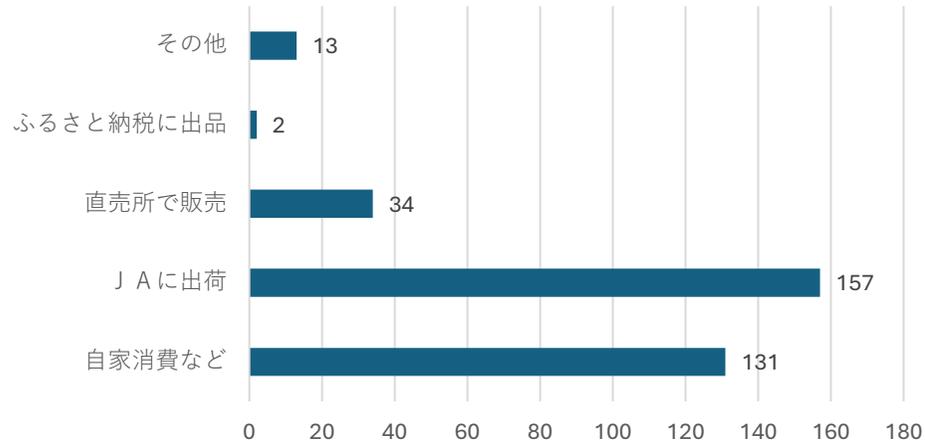
年齢



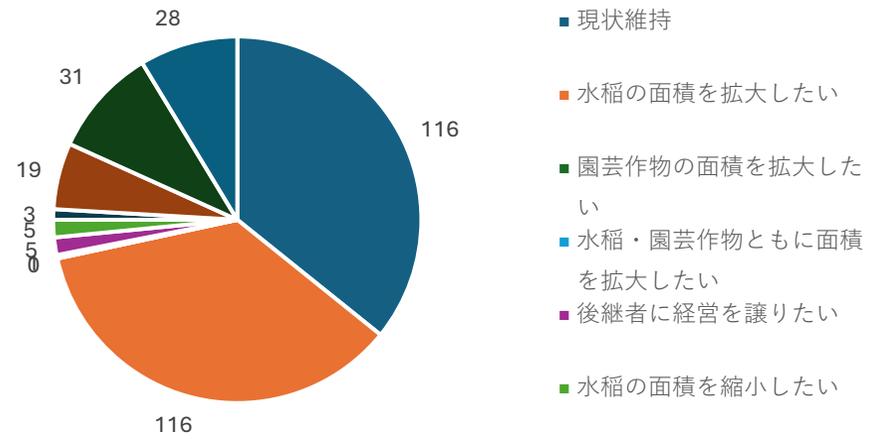
営農している農地の面積



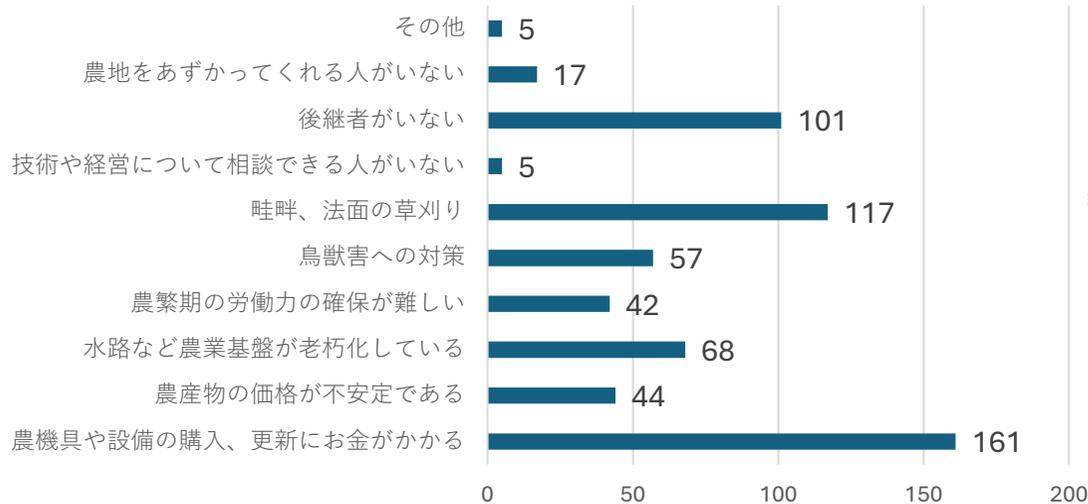
農産物の出荷販売先



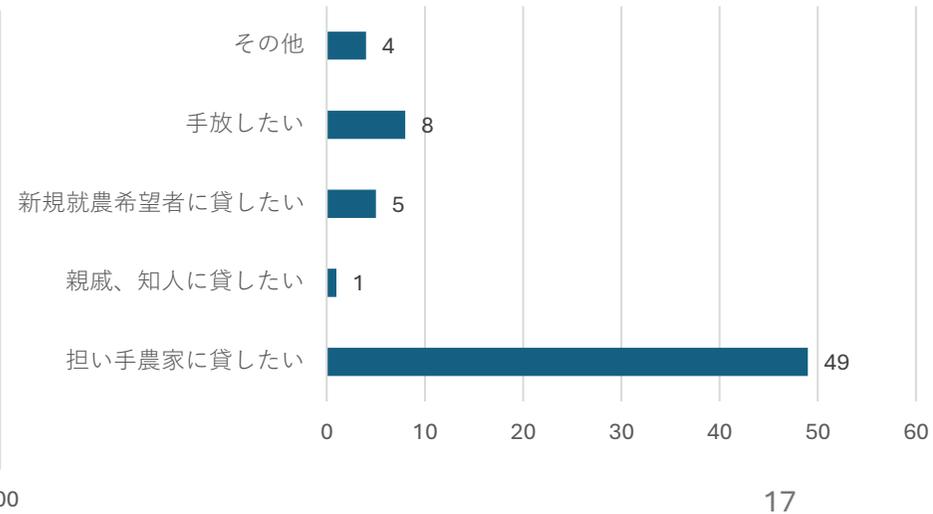
今後（おおむね5年後）の農業経営について



営農する上で困っていること

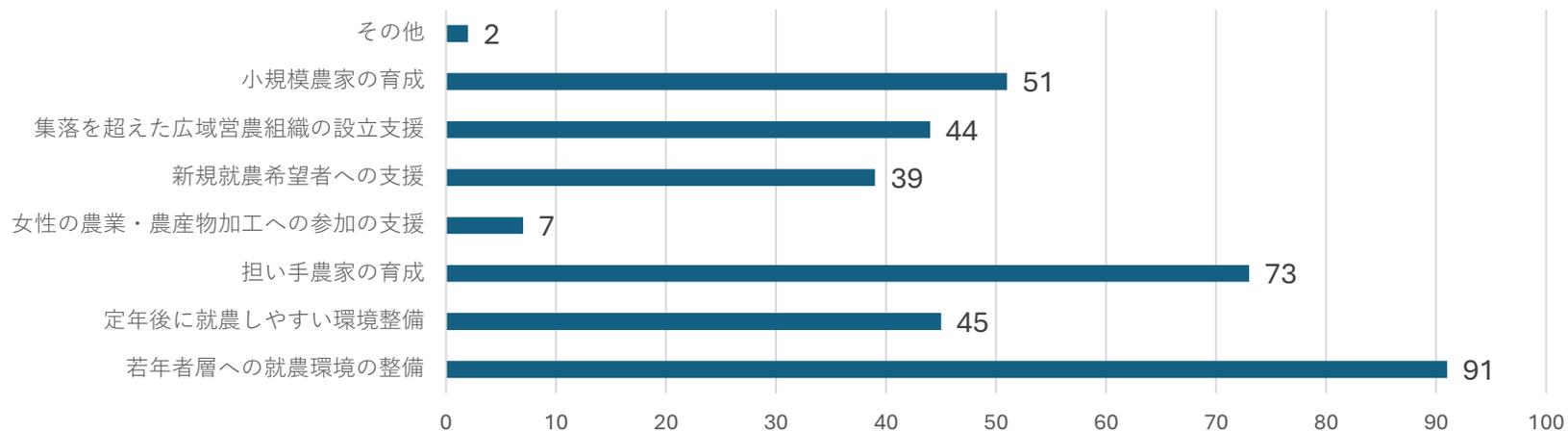


農地をどのようにしたいとお考えですか

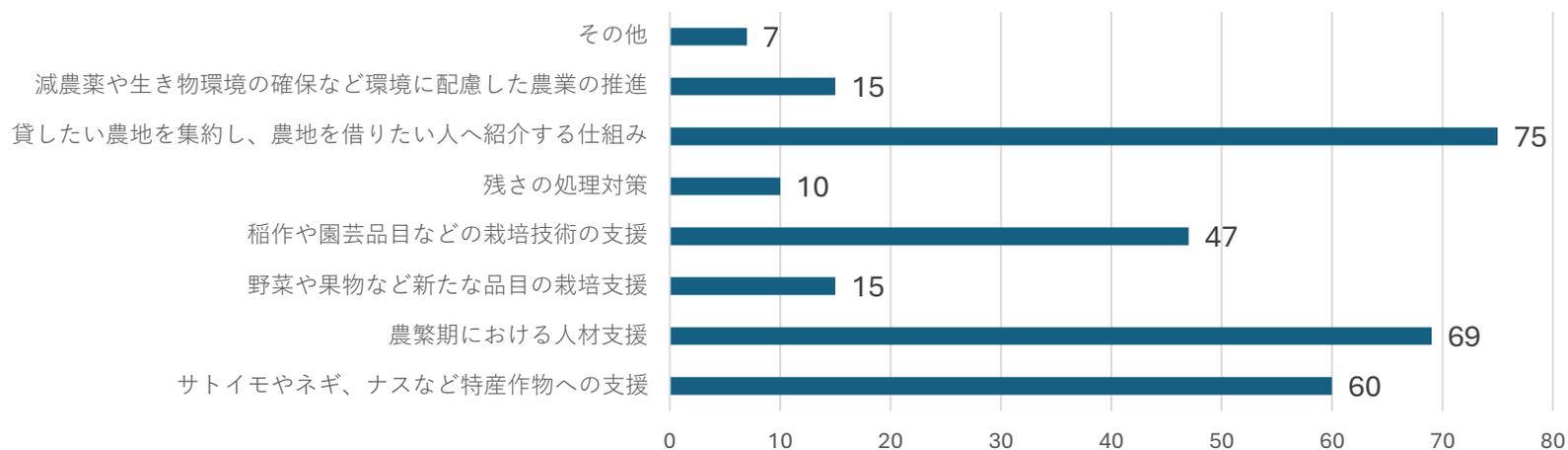


「地域農業の活性化」について

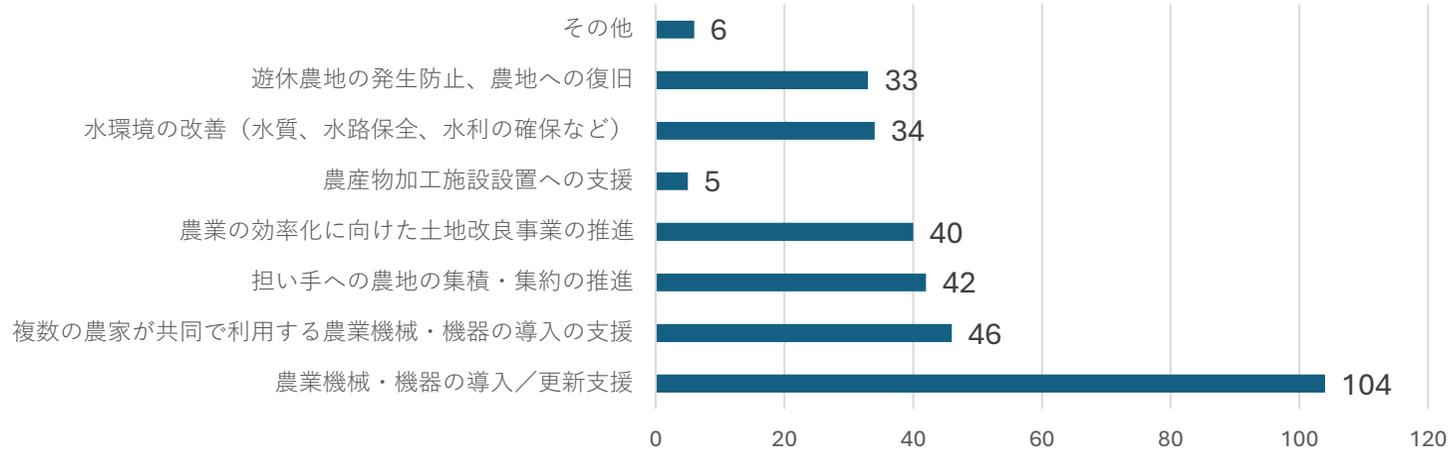
農業者・後継者育成対策



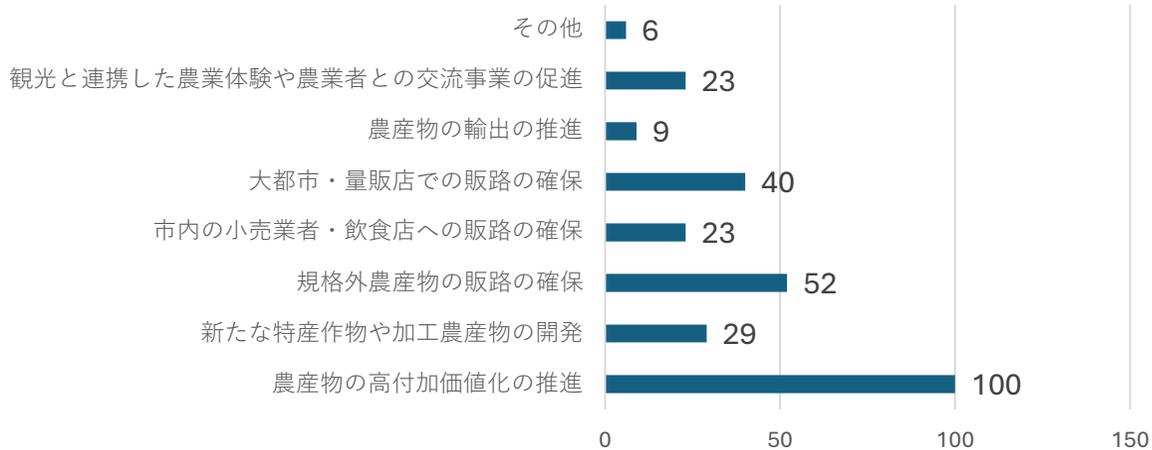
営農支援



基盤整備



販売支援



鳥獣害防止支援



「地域農業の活性化」に関して、お困りごとや対策のあり方などについてご意見

- ・極々、小さい圃場の水漏れなど、修復して貰えない。
- ・多面的機能支払交付金の施設の長寿命化について、集落内農道、水路の老朽化により補修工事をする場合、幅員変更ができない。補修を機会に不都合な点を解消することができない等社会情勢の変化に対応していないので、改善願いたい。また、県・市事業との連携も可能となるよう要望します。
- ・零細な個人農家では生き残れない。広域化組織や担い手農家の育成が急務である。遊休農地の対策、鳥獣害対策にも力を入れてほしい。
- ・地区に営農者が少ないことこれまで地区を維持し保全しているのは、小規模農家。担い手農家だけでなく、小規模農家への支援(特に機械の更新)や育成について、若者の関心をひくように見える化すること。
- ・兼業農業収入の税金対策。
- ・今、預かっている農地の90%を預かってくれるところがないかと思っている。もう5年ぐらいしたら80歳になるので不安です。もし預かってくれるところがあれば教えてほしい。
- ・農業機械が高すぎる。
- ・都市計画区域内における農業者に対する支援補助、農業基盤の整備、機械の更新が困難で農振地域並の支援を望みます。
- ・水稻がここ数年猛暑の影響かカメムシ加害による斑点米が多発し、出荷しても1等になりにくく困っている。農業をやめる人が多く、さみしい。このような中、農業の話をして誰も関心をもたない。
- ・混住化が進み、地域農業への支障にならない様、農業者への配慮とか、市の外で「結」を推進し「個」から「隣人」としての深まりが必要と思われます。
- ・出店に対する手数料を簡略と共に出店手数料の低減・出営する農業者にやる気をおこす様に。農業継続については、経費が高額で（設備費・機械等）出だして問題が発生する。これについて支援等が大事。
- ・猿の被害に困る。実の実のなる物全滅、特にトウモロコシ・エンドウ豆。

- ・大規模農家を推奨していますが、私の5ha以下の農家では採算もあわず、将来的にはやめざるをえない状態です。
- ・農業機械の更新に活用できる補助金制度。里芋やねぎの出荷準備作業（調整選別・袋詰め）の負担が大きい。
- ・補助が大規模農家ばかりで小規模に少ない。
- ・農産物の栽培時の害虫の被害にこまっています。研習をいただけたら。収穫までいたりません。
- ・農業に対してやる気が無い。
- ・小規模農家をなくすような政策を推進して農業をやめてしまった結果、若者も農業にふり向きもしなくなった。赤字続きでも続けてこられたのは兼業農家だからです。農業の収入だけで生活できる時代にならないと活性化は無理だと思います。小規模農家にも補助金制度を活用できるとか農地を借して田植えから稲刈りまで借人が行う方法を考えて担い手を育成するとか具体的な案があると良いと思います。
- ・後継者がいないため残った田畑をどうしたらよいか悩んでいる。中間管理機構の利用の仕方を農家に浸透するよう広報をお願いしたい。（メリット、デメリットが分かる様なものがあると判断しやすい）。
- ・農業者において消費税率8%となり2%の付加価値の減少がみられる。また、農業機械の高騰から消費税10%はきびしい。農業機械の消費税をなくして欲しい。1,000万円で100万円の消費税はきびしい。10年の中古品でトラクター・田植機・コンバイン・乾燥機・もみすり機で1,000万近くかかるため。
- ・「地域農業の活性化」は何か？農業生産の低下と共に地域も衰退して行く。
- ・大野市のやり方は国・県の施策を追従しているだけで、独自性がないと思います。国・県の方針に従って「法人化による経営」で、法人の数は多くありますがイニシアチブを取る人が育成されていません。
- ・基盤整備ですが、個人農家で家計が苦しいのですが機械の導入しようと思うが高価で手が出せないから手厚く支援がしてほしい。
- ・狩猟1頭に対して、補助金の支援と肉の販売先の拡充と拡大を。

・農業をやっている人、やりたいと考えている人たちが農業はもうかる職業だという事になるのが最重要課題。それと若い人達が農業に就業できる様、金銭面の支援、補助をしてあげる事が必要、又は大事な事であると思います。

・農作業員の高齢化により農業法人そのものの運営が5年後にはわからなくなっている現状である。機械に伴い農地の大区画化「現30a/枚→2ha/枚以上」にしないと作業効率が上がらない。大型化にすることによって手作業→機械作業になり若い人も働きやすくなるのでは。

・上庄地区は2反位の面積の圃場が多いので小規模の土改良を行うと、効率的に農作ができ活性化になるのではないかと思います。

・担手農家と隣接する畔の草刈りが全くされていないのが困っています。担い手は収益しか思ってなく環境には全く無視しているように思います。

・農機具、肥料等が高い為農機具が壊れたらそこで農業をあきらめる。小規模農家が多いと思う。そこが日本の農業者が少なくなる一番の要因に思う。

・兼業農家でやっているのだから農機具の購入など大変なので補助してほしい。大規模農家とか認定農家、集落農家などには補助金が出ているみたい？個人では草刈機1台買うのも大変です。

・農業の魅力・将来性の発信。就農時の初期投資額や運転資金が高額で地域の若者の参入を阻んでいる。地域農業者には栽培技術はあるが販売や経営の能力に欠ける。

・後継者の育成をもっと早くやっておくべきだった。まだ、本人はやる気があるので一年でも長く農業を続けたいと考えています。それにしても、農機類の高額な為に更新を考えられない。整備や修理にしてもかなりの金額を支払っているのだから一番のネックです。それと資材・肥料など全てに負担を感じます。これらが個人農家の離農につながっているのでは。

・過度な補助金制度、減反政策等で農業法人・大規模農家さん人手が無く雑草対策・環境対策に手がまわらず土地は痩せて除草剤等で環境が変わり将来が不安だ。

・いつまで米作りを続けられるか。子供は農業はする気なし！今後どうするか？

・いのししのあぜ土手みぞなどほられて困る。サルが団体で年4回ほど作物、すいか、とうもろこし、えだ豆、人参、ねぎ、しょうが、じゃがいも、なんきん作るものすべてやられる。田んぼまで猪がはいりこんだ。昨年、今年、特に獣害の被害が多い。

・1,集落の人材不足により侵入防止柵を設置しても、あとの管理が出来なくなっている。

2,山の回りを現在囲っているが他の集落より道路を歩いてイノシシが侵入して来る。

(クマ、サル、鹿)には、現在の侵入防止柵はまったく役に立たない。

3,上記より、和泉地区、勝山市に設置してある金網柵の設置を山ぎわに大野市全体を囲うようにして欲しい。

・水不足の中山間特に阪谷18集落での小規模農家(2町未満)に大野市の補助だけではますます離農することになる。獣害、法面の大きさ、水が十分に確保できない。退職しても農業をしないのは時給10円？無関心なの？体を酷使するだけで非健康的だから。農地を守るために継続できる大型の個人組合組織に補助金を受けていれば、面倒な特産品は増加しないと思う。個人が自己所有農地を委託することなく野菜を作り、出荷するまで行けるだろうか。高齢者が増える中、最低賃金すら保証できない阪谷は大変だと思う。

・地区の離農が進み、地区の農業者は現在4軒のみである。後継者はどこもいないため、もう5~10年後には農業者は0になると予想される。農業法人や生産組合などがすべて担うことになるが、そのような組織は年々委託される量が増えていることもあって、特に畦畔・法面の草刈りや用水路の管理等がおざなりであり、また除草剤の大量散布で畦畔も痛むなど、将来的に農地の健全な管理が危惧される。また、土地改良が行われてからかなりの年月が経過し、取水口、排水口、用水路の老朽化や畦畔の損傷が激しい。担い手不足もさることながら、抜本的な土地改良の策定が望まれる。

・地域内での担い手の育成・確保のためには、まず参加しやすい地域コミュニティづくりが行われていることが第一で、その中から新たな人材の発掘につなげていくことが近道と考える。

・個々の継続理由ややり甲斐、問題の農業事情は様々です。うまく寄り添える、大野市結の精神で地域間で気軽に助け合える様な関係性を構築していきたいです。

・大臣が変わるたびに減反政策がコロコロ変わる。備蓄米を安価な価格で確保しようとする詭弁を使った安易な政策は見直すべき。実際に米は不足している。

・農地を安心して預けられない

・令和のコメ騒動で農家のありかたが問われている。これまでの倍以上の価格になって消費者は大変だ。米を抑えて作るには大規模化が必要であろう。大きな米農家はJAを通さずに独自に販路を開拓して経営している。一方でそれの出来ない農家JAに出荷しているが、いつまでも中小のままでコストダウンが出来ない。また米農家の時給は10円というような話もある。大規模化を進めるためにJAがJAに出荷している農家と農地の借用契約を結び、JAが農業経営を行う。農地をJAの元に集約することで大規模。効率化が出来よう。当面は現在米を作っている農家の人と契約社員的な関係を築き実際に働いた時間の応じ賃金を支払う。そのことにより、農家の時給が10円ということはなくなる。JAに出荷している中小の農家はその方が収入が多くなるのではないか。JAと国は集約した農地を計画的に使うことで米作りや転作作物の設定など自由にできる。遊休地を太陽発電の場所として活用も出来よう。わざわざ転削目標など設定しなくても自由に出来る。農家もその方が煩わしくなくてよい。JAの農業部門の採集については食料安保の観点から赤字にならないよう国が保障する現在のようなばらまきではなく効率的 n 補助。米があまった場合世界飢餓で苦しんでる人が多くいる無償援助を行おう。ODAで年間何千億円ものお金が使われているそうだが確かにスリランカのようにプロジェクト破堤して2-3千億円もの焦げ付きを出しているよりはまし。直接国民への援助となり喜ばれるのではないか。

・かなり多くの農家の悩みは自分自身が高齢化しているのに後継者がいないということだと思う。自分自身の健康上の問題あと何年続けることができるか？という不安ことは米も上がり少しは改善できるかもしれませんがいままでのように安価なのに経費が高騰するような状態ではしたいという気持ちにはならない。我が家も農業収入は毎年赤字だったので。

・営農への関心と責任感（自分の農地の管理に対する）。

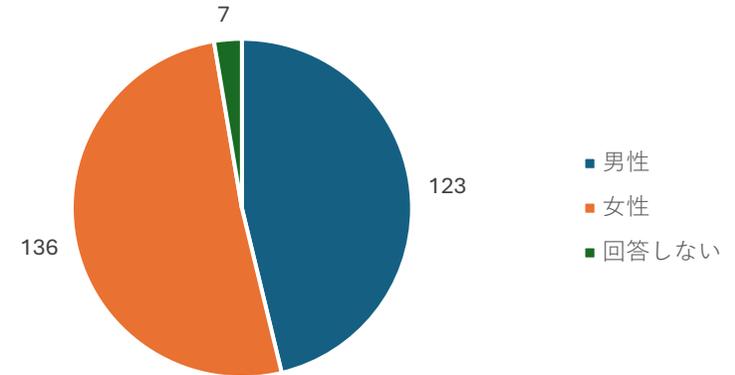
・何が「国政調査をしないと…」と適当なことを言っているのか！人口統計、年齢別でも解っている。外国人の就労数や入国数も解ってる。各統計をまとめて把握すれば現状の米の生産数量では留学生や実習生などの外国人を含めた日本の現人口から鑑みたら米が不足しているのは明らか！！農林省も、もっとしっかりして、現状を把握しているような安易な言葉で、備蓄米を安価に補充する政策や考え方を改めること！

市民対象アンケート

	送付数	回答数	回答率
市民	600	265	44.2%

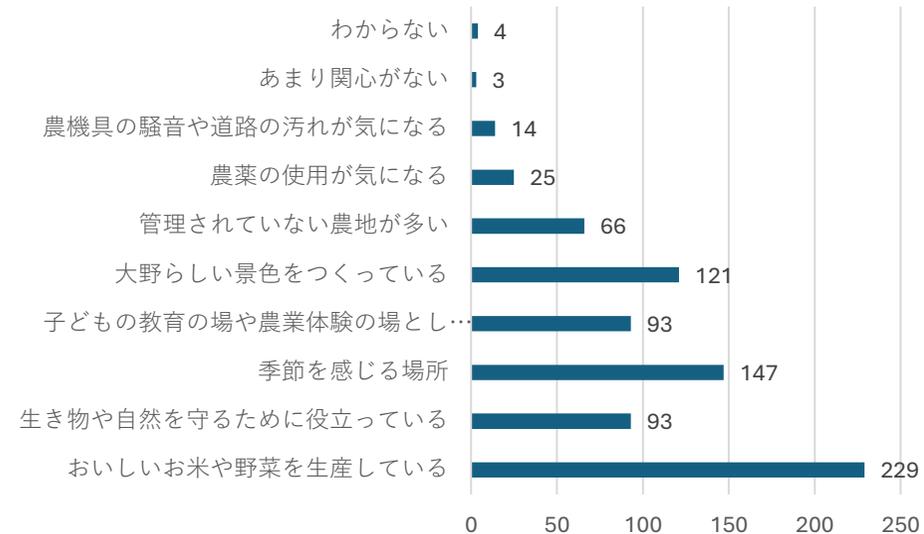
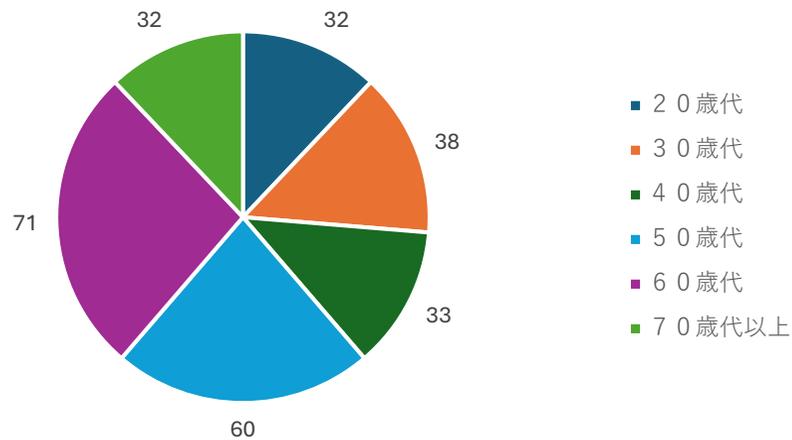
各年代100名ずつ無作為抽出してアンケートを送付

回答者の性別

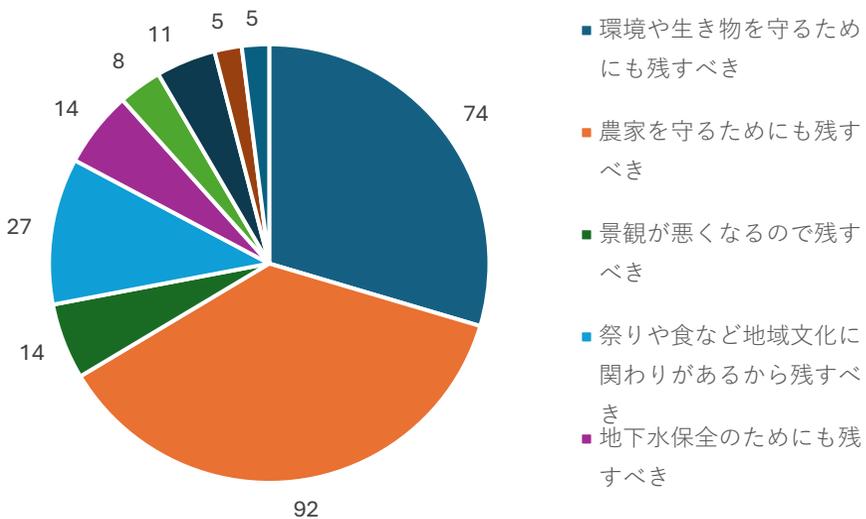


大野市の農業や農地に対して感じていること

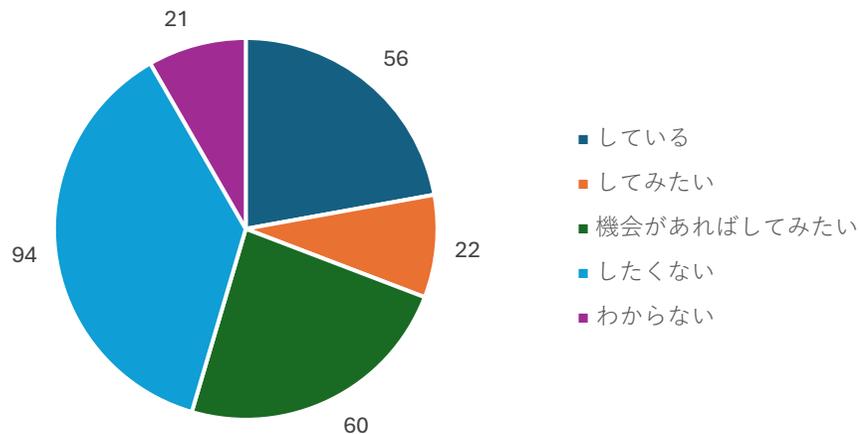
回答者の年齢



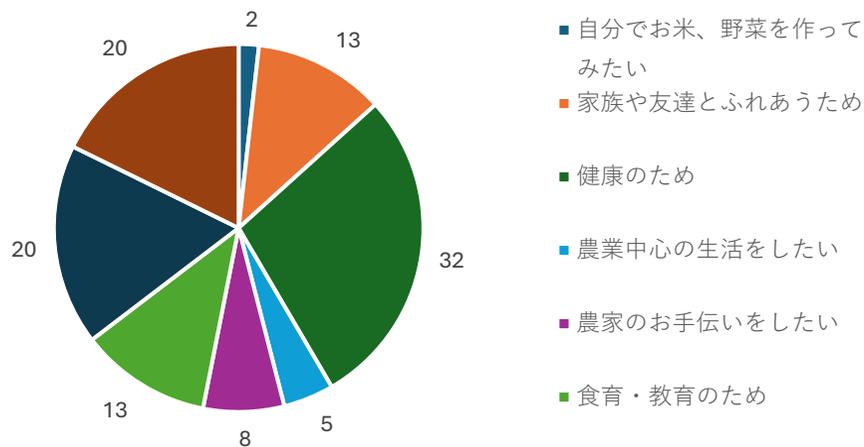
大野市内にある田畑について



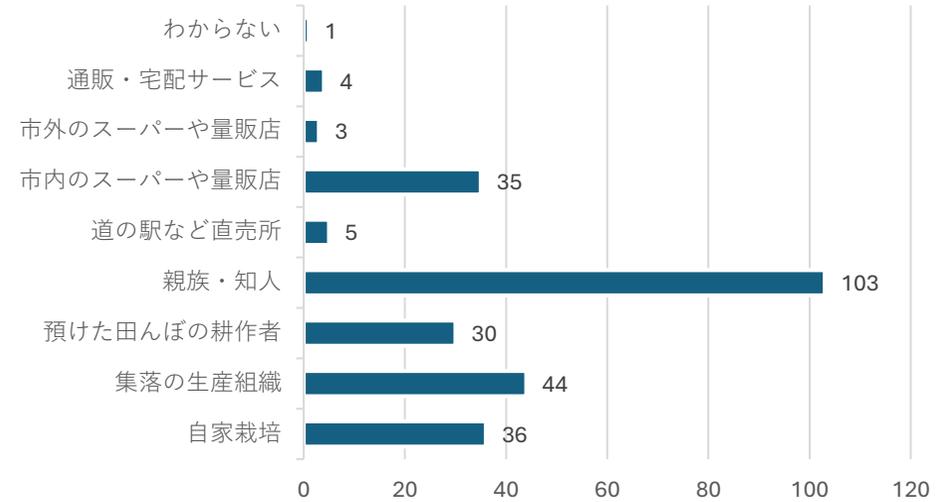
農作業（農業）をしたいと思いますか



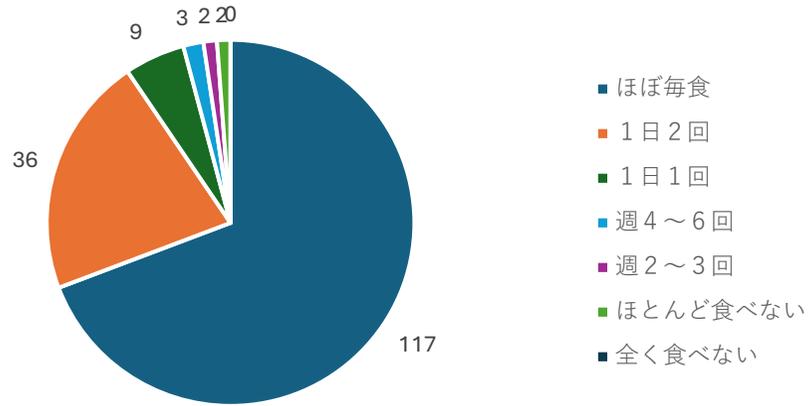
農作業をしてみたい理由



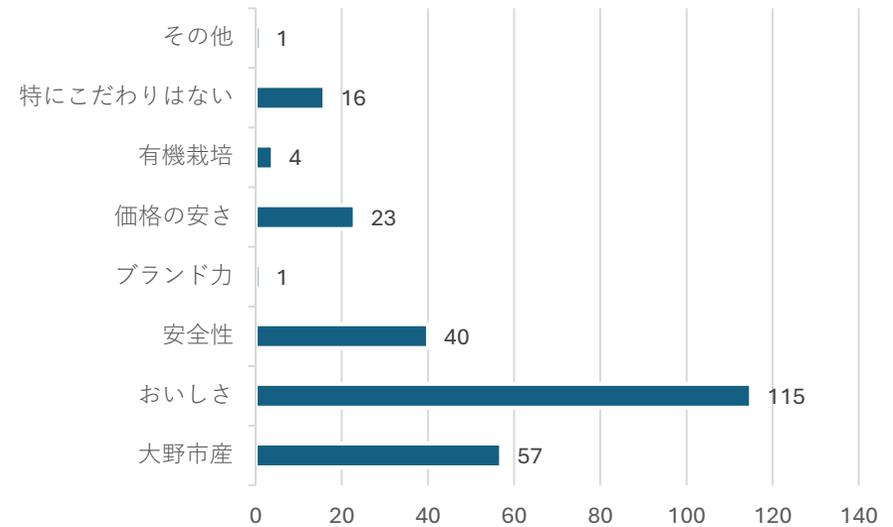
お米はどこで入手していますか



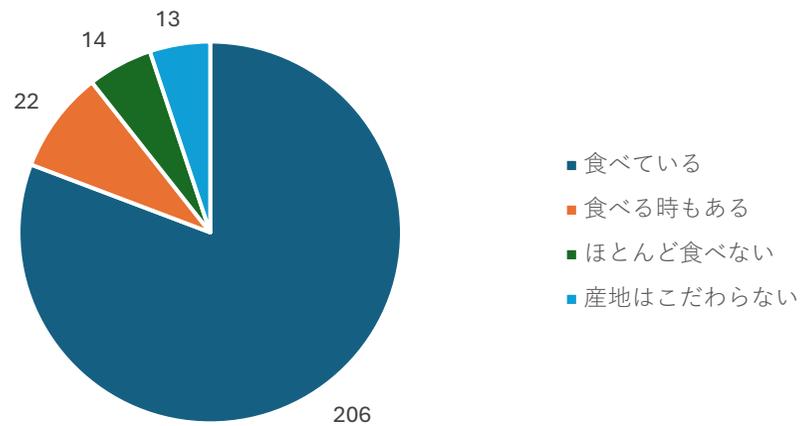
普段お米を食べていますか



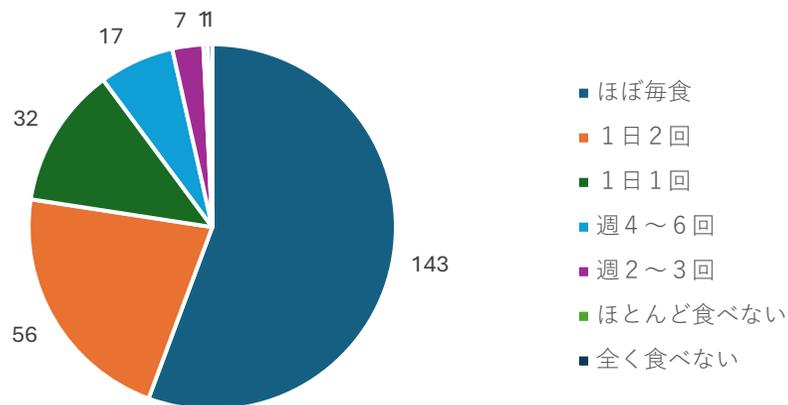
普段食べるお米に関して求めていること



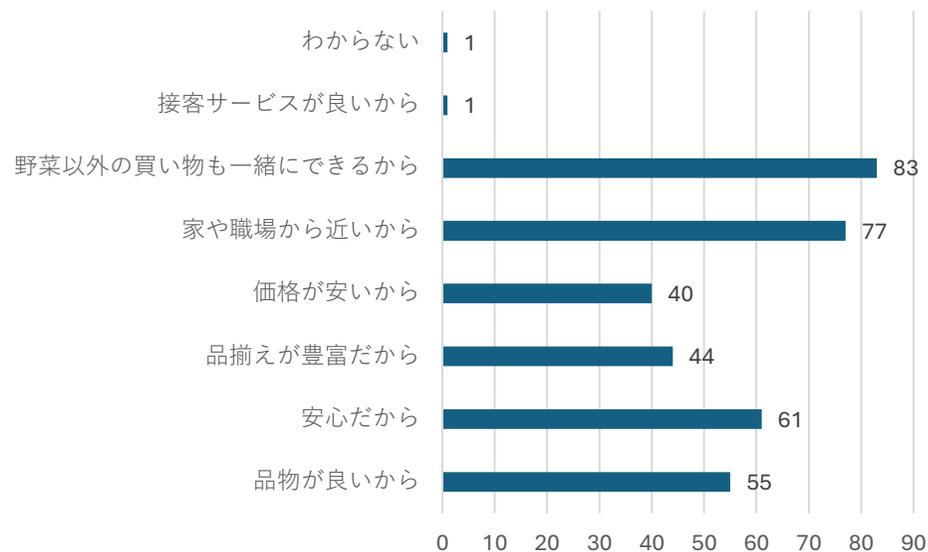
大野市産のお米を食べていますか



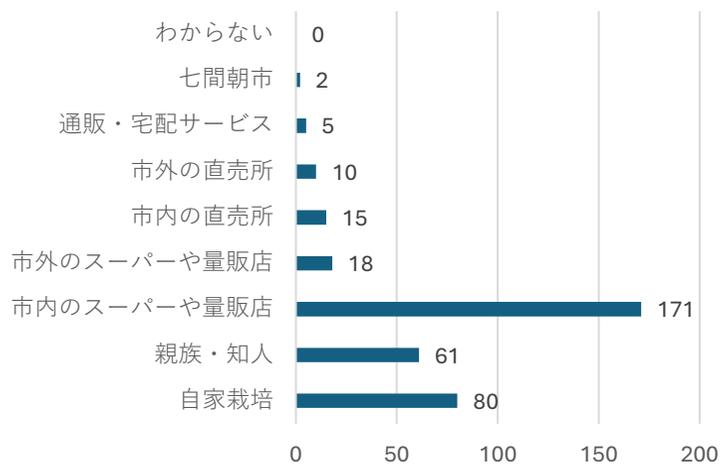
普段野菜を食べていますか



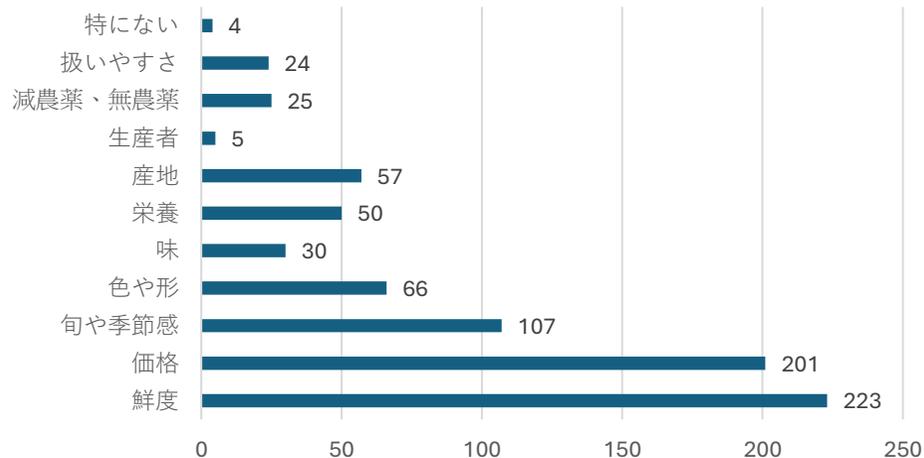
野菜を入手する場所を選ぶ理由



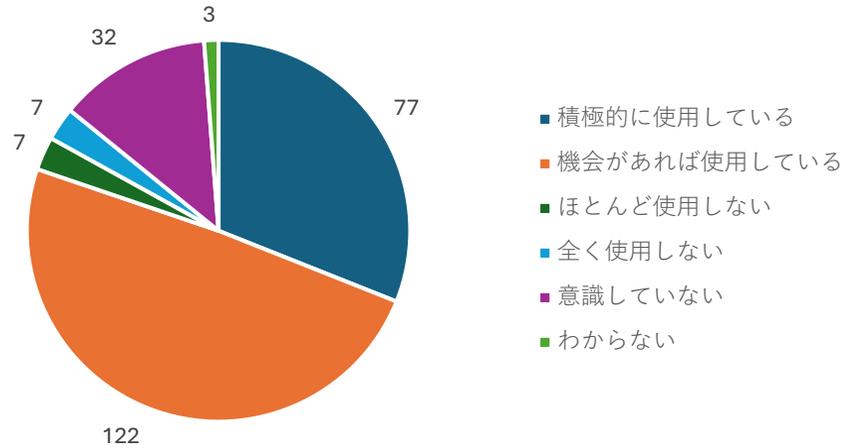
普段野菜を入手するところ



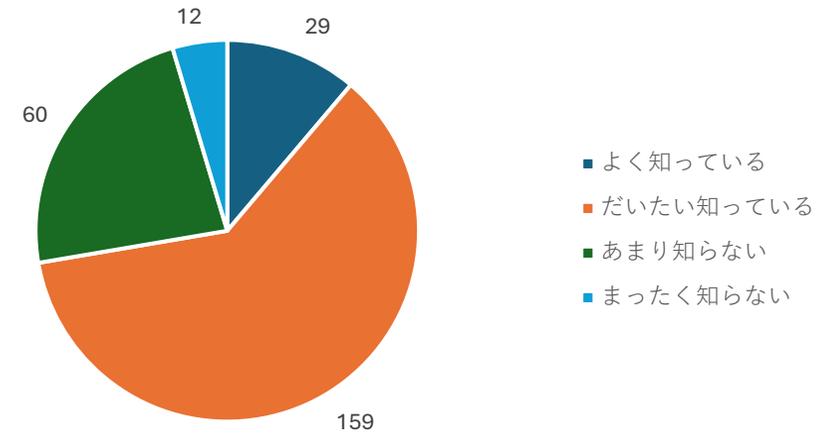
野菜を購入する際、注意していること



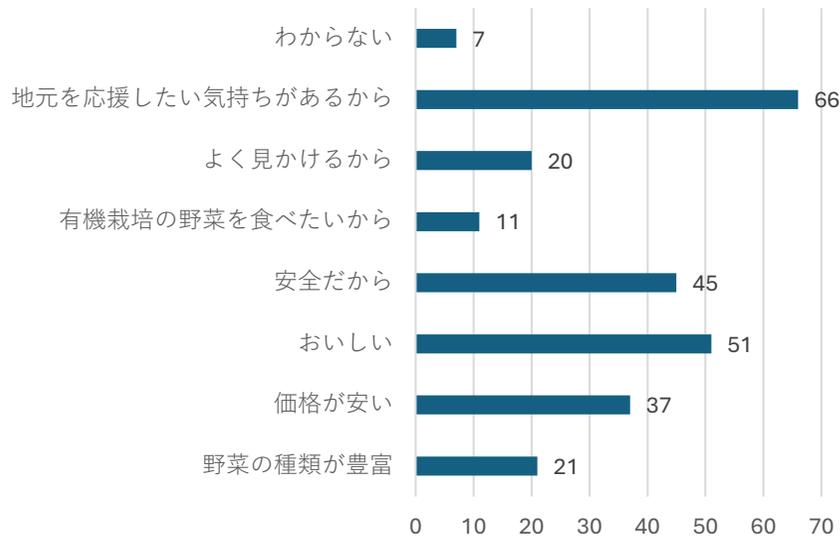
大野市産の野菜の使用について



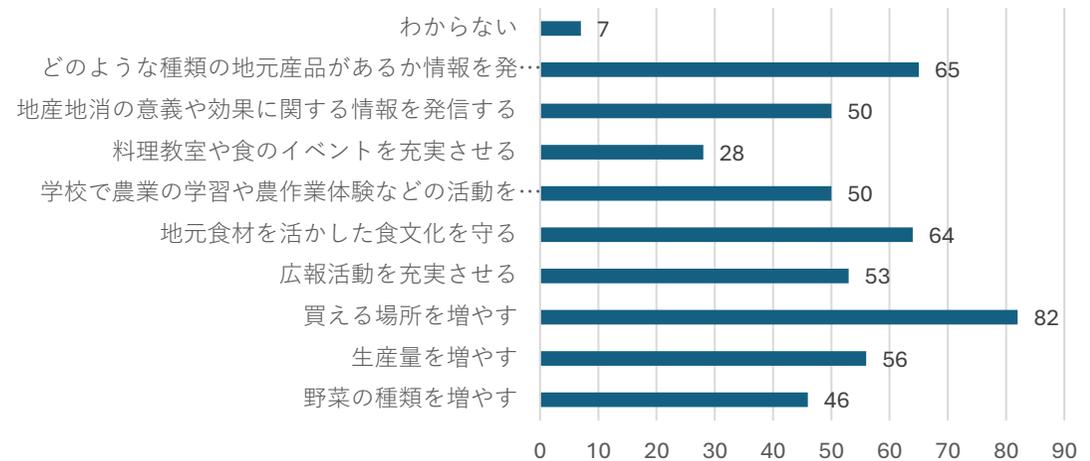
大野市産の野菜の旬の時期をご存じですか



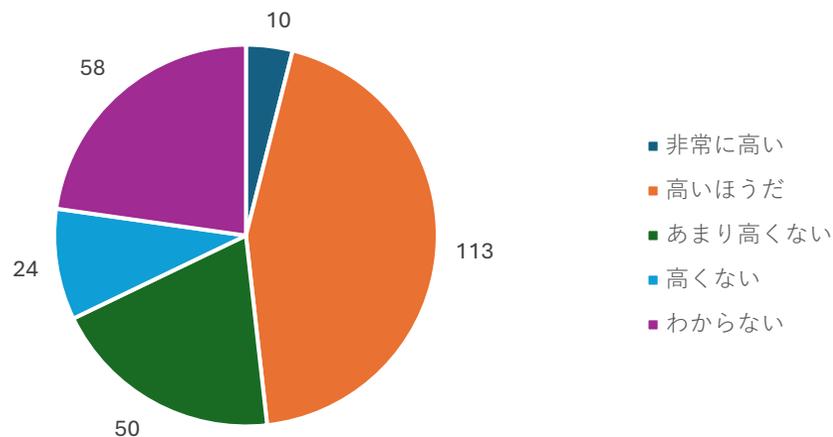
大野市産の野菜を使用する理由



地産地消のために必要なこと

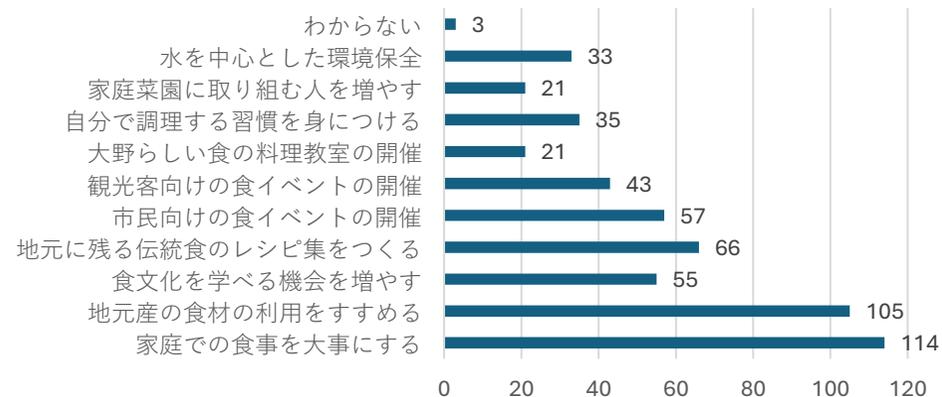


市民の食文化に対する意識は高いと思いますか

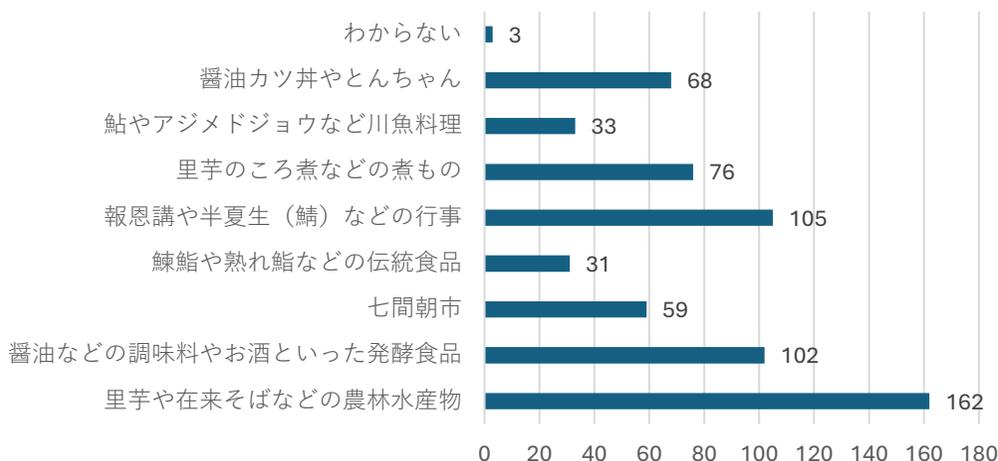


大野の食文化を未来に伝えるために

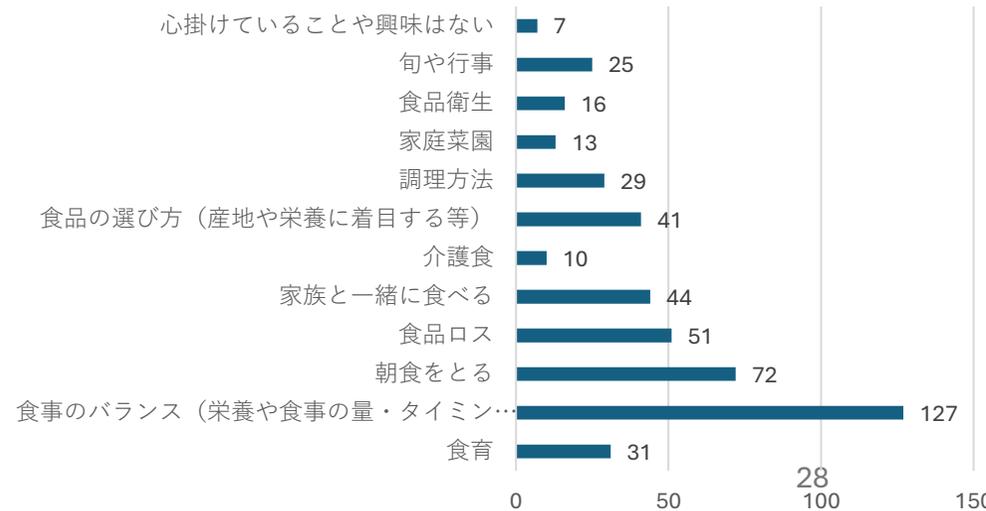
必要なこと



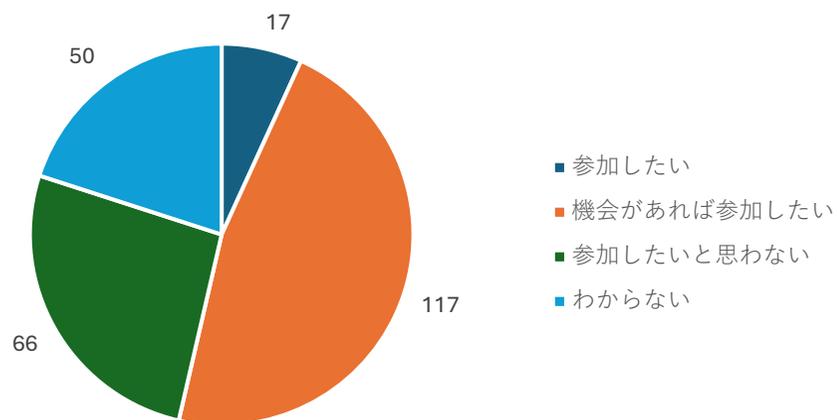
大野らしい食文化は何だと思いますか



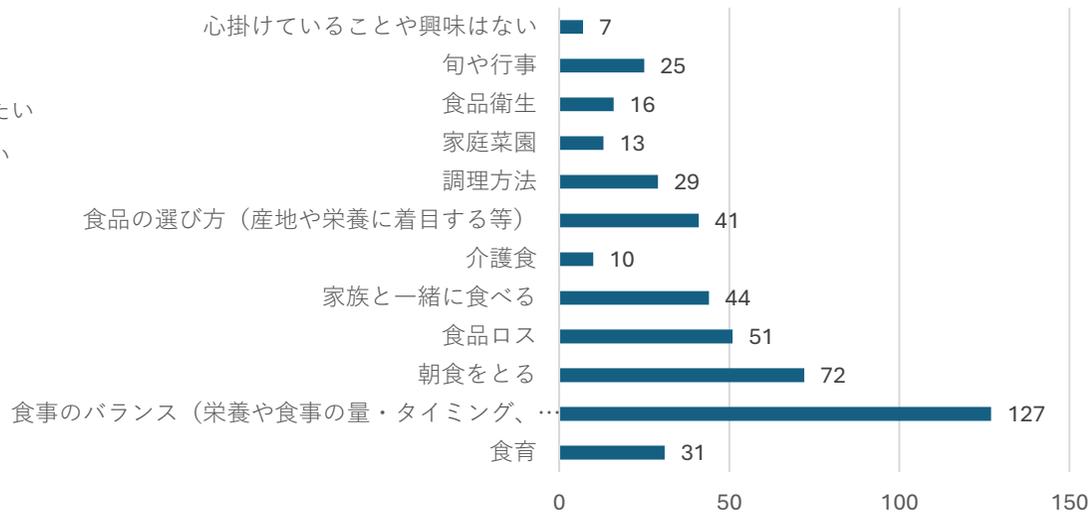
食について心掛けていること、興味があること



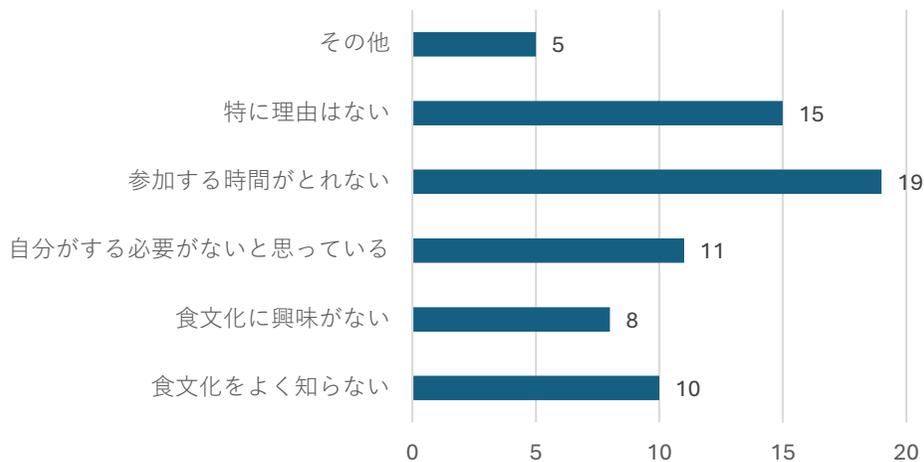
食文化についての講座があれば参加しますか



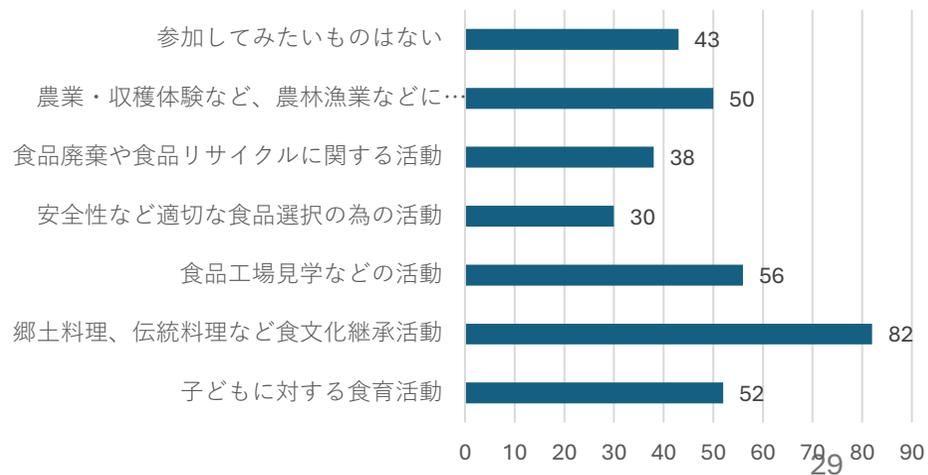
食について心掛けていること、興味があること



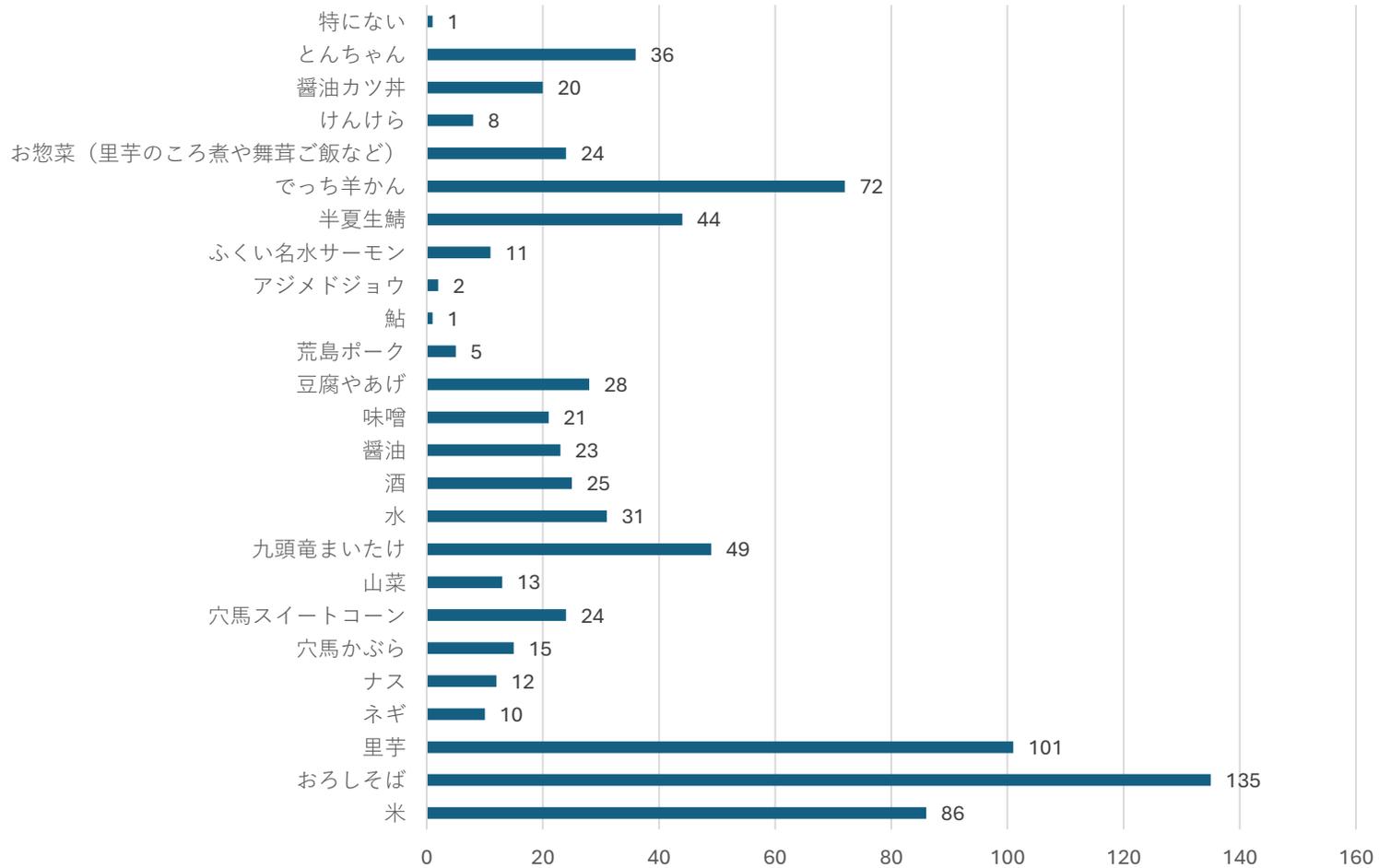
食文化講座に参加したいと思わない理由



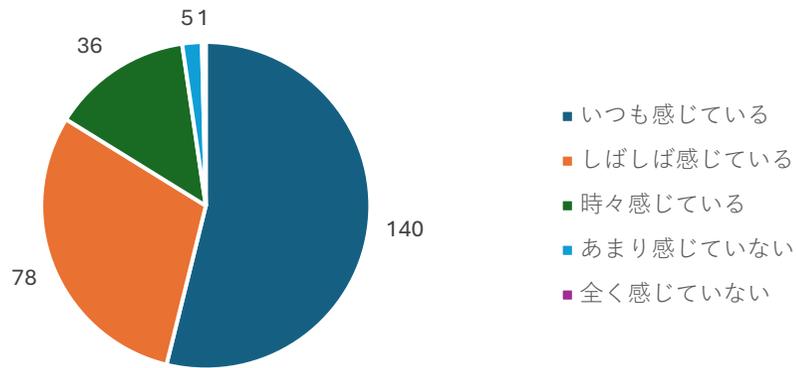
参加してみたい活動



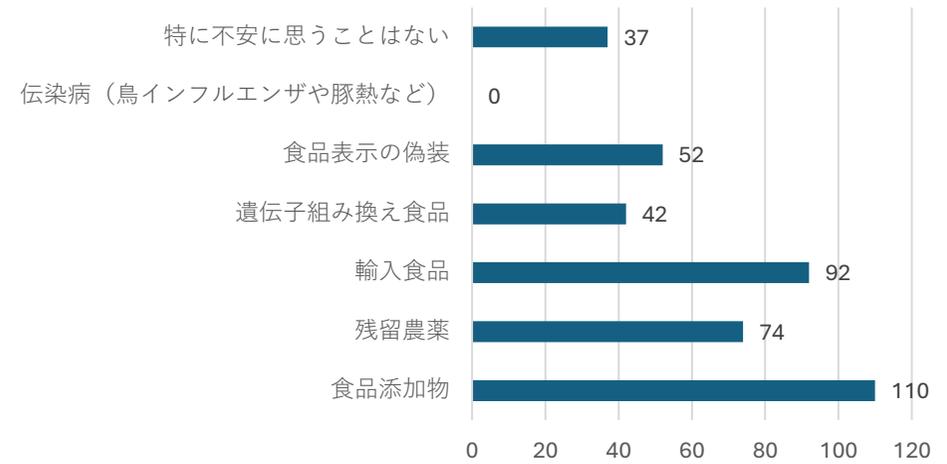
市外の人に食べてもらいたい大野の食は何ですか



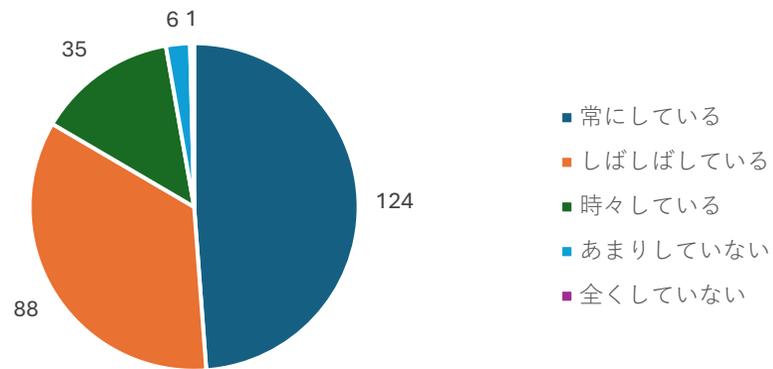
日ごろから「もったない」、「気を付けよう」と感じることはありますか



日頃、食の安全に関して不安に思うこと



食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしていますか



農業や食、食文化等についてご意見

<食、食文化>

- ・少子高齢化により伝える者が減少しているため、今のうちにそれらの文化等を若い方々や子供達に伝える機会があるといいと思います。
- ・地産地消をもっとできれば良いと思いますが、なかなか近場に道の駅のような大きな産直場が無いのでできていません。
- ・こども(保育園児)兄弟児も含め料理の仕方、調理器具の使い方など教えてくれる場所に参加してみたいです。
- ・料理教室は参加へのハードルが高いように感じるため、イベントの一環として簡単にできたりみれたりするといいかと思います。
- ・大野盆地で生活が完結していけることが楽しく安全な食文化につながると思います。
- ・一番思う事は安全であることです。私は20年近く味噌作りをしています。これも安心して食べれる物で子供達にも与えています。これからも続けて行きたいと思っています。漬物もいろいろ作ってみたいです。
- ・外向けだけではなくもっと若い人や地元の内向けも広告活動が必要では。市内のイベント等市内、市内や地元民はあまり知らないのでは？地域や地元で根ざした広報活動をしてほしい。
- ・今回のアンケートで大野の食文化等について今まで感心がなかったことに気付いた、今後はもっと感心をもたなければと思った。
- ・活動とか講座となると思い雰囲気を感じて参加しようと思わないが気軽に参加できるイベントが増えていくことを願っている。
- ・ジビエについて勉強したい、農作物の被害をなくすためどのようにするかを勉強したい。
- ・大野の食文化を後世に残すことが今の私たちの勤めだと思う。協力するので役所でも頑張ってください。地方も含め日本の食料自給率をあげることが重要だと思う。
- ・大野にはおいしい食材や料理があるのでみんなに知ってもらいたい。生産者の方の高齢化も気になる。

・福井県はあげの消費料が日本一で、そばもおいしく、他県のもの食べたいと思わない、里芋も全然質が違う。食文化は非常にすぐれていると思う。何かもっとアピールできるいいと思います。

・食のイベントが少なすぎると思う。体験するより食べることの食しさイベント広め大野の食を広めてほしい。

・時代の変化に伴って食生活も変わってきて趣味もお膳に馴染んだ商品や味がかわってきた。特に発酵食品のぬか漬けやこうじ漬けといったものは食べたことがない、すきではない。またつくる側でも面倒だといった話も聞くことが多くなった。手間暇かけることに時間をとられると食卓にあがらないから知らないことが私としては少々残念に思っている。発酵食品以外にも大野に伝わる伝承料理や食材を生かした調理法も同様な傾向があり、今後いかされるか危惧される。大野といえばこれといえるような郷土料理を伝え、家庭の味としていかしていければいいと思う。

・七間朝市等、年数回にすっかりさみしく買い物に行く回数が減りました。作る人も高齢で作る人が少なくなったのではないのでしょうか？新鮮野菜買いたくてもだんだん不便になりました。

・物価高のため輸入品に頼らざるをえない地元の野菜などはこの時と特別な日に買うような高級品。もっとリーズナブルにスーパーなど売り場を広げて売ってほしい。ファストフードや嫌いのものは無理して食べなくてもよい。といった時代拝啓の移り変わりで食べ物にたいしての意識が低くなっているため食物に対しての有難みがなくなってる感があり子供達に郷土料理などを伝えるには難しい。

・難しいかもしれませんが七間朝市がもっと賑わうといいと思います。

・大野市内の観光地は他の街と比較しても注目度が低いので、自然豊かな地元の食文化や農産品に焦点を当ててアピールすべき。また七間通りの朝市もかじ忽旧店舗前で2件が出ているくらいで、ほぼ壊滅的状况である。以前は大野市が財政的なフォローもしていた筈だったが、今からでも遅くないから朝市復活に向けて大野市は動いて欲しい。

農業や食、食文化等についてご意見

<農業>

- ・生産者が安全に米、野菜等を作って欲しい
- ・頑張っている。そして農家さんや農産業界関係がもっと周りが頼りやすいプラットフォームなり環境を作って欲しい。今では農家をやりたい人が少ないのはそこに良さが感じにくいと言うこともあるので良さを新しく何か考えて欲しい。
- ・過疎地での人口現象高齢化に伴う農業従事者の減少生産組織の高齢化及び衰退。
- ・米の価格が高い
- ・農業の後継者問題が不安
- ・畑で野菜を作りたいが山から動物や鳥に荒らされたりして作れない。害獣とはい言いたくないが共存できる方法はないのかと思う。
- ・今回のアンケートで大野の食文化等について今まで感心がなかったことに気付いた、今後はもっと感心をもたなければと思った。
- ・地元の野菜やコメを大切にしていきたい、農家を継ぐ人がいないことが大変だと思う。
- ・子供の農業体験は昔のやりかたばかりを体験させ苦労を伝えているだけに思う、近代のやりかた楽に農業できる体験させるべきだ。大野の在そばはおいしいがめんいする食べ方ばかりで手間。粒そばの食べ方を広めていない、こだわりは捨てるべきだ。
- ・家の農業を手伝わないといけない、とわかっているが忙しくてなかなか出来ない。
- ・大規模農業など除草剤等の散布多く管理悪い地下水に影響はないのか？
- ・中野なすが幻になるまでに対策が必要では、生産農家を増やす方法が必要では。
- ・農家の高齢化でやめる人が多く感じます。農業関連の機械が値上げしている。その補助や若者農家他県等からきた農家になろうとしている方への支援など検討ください。できることは限りがありますが応援しております。
- ・自然栽培が大野に広がればよいと思う。

・若い人に家庭菜園を推奨したり補助したりして、そこから農業に興味を持ってもらうように取り組んではどうだろうか？

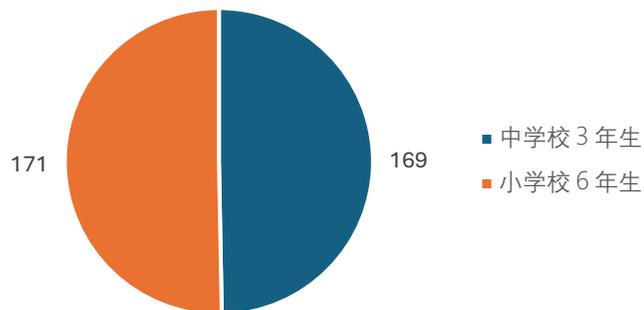
・ITを活用するなどしている意欲ある生産者をサポートしたり、ITに苦手な生産者も活用できるよう、生産者同士で情報を共有できる場や仕組みがあれば助かる人もいるかもしれない。地場産の野菜がスーパーやシルバーになどでださされているので、買う側としては助かっている。食文化は家庭がまずは基礎だと思うので、忙しい中でも取り入れやすい、ハードルを下げたアイデアやデザインで広く共有するのも一つかと思う。公民館などで行われた講座をYouTube動画などで家庭でもみることができるようにする、など、伝える手段についても色々試してみるといいと思う。

小中学生対象アンケート

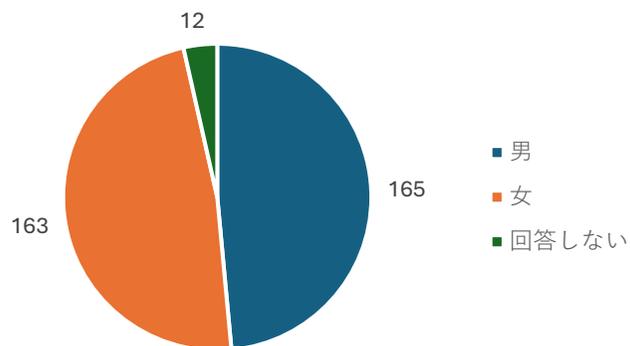
	送付数	回答数	回答率
小中学生	420	320	81.0%

小学6年生、中学3年生を対象にアンケートを実施

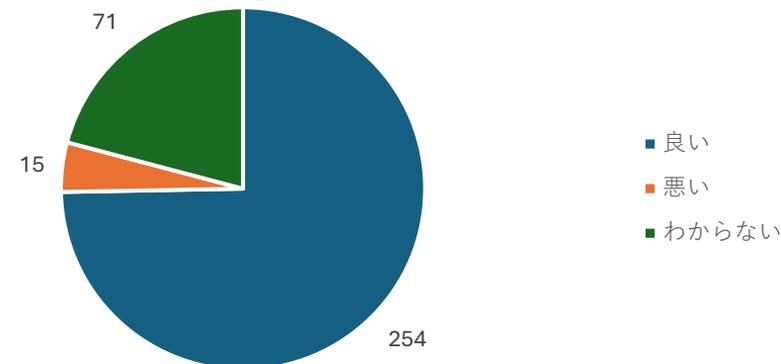
学年



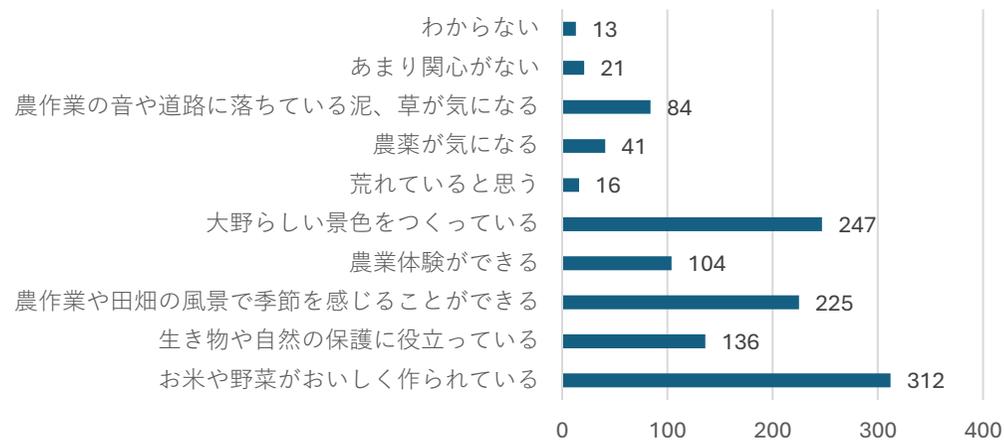
性別



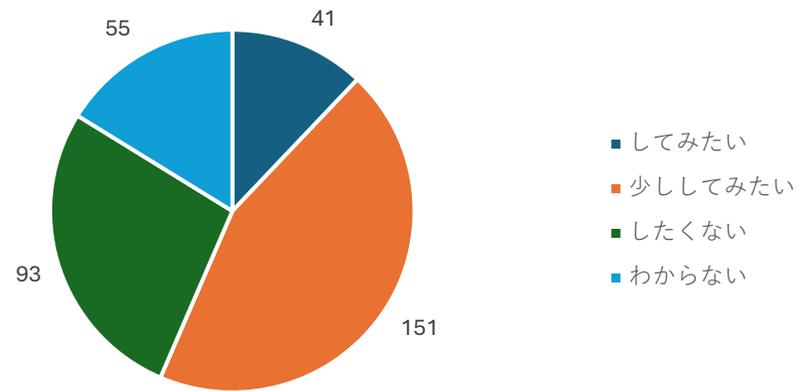
農業に対するイメージ



大野市の農業や田畑についてどう思いますか



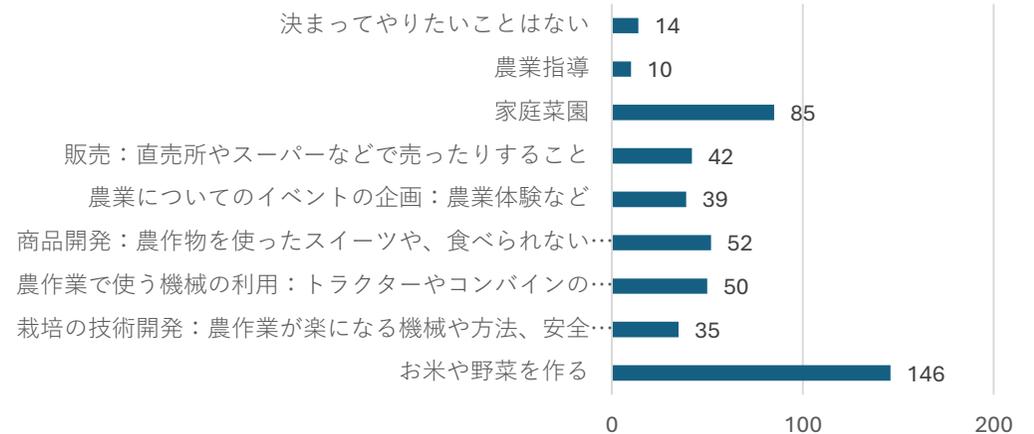
農作業、農業をしてみたいと思いますか



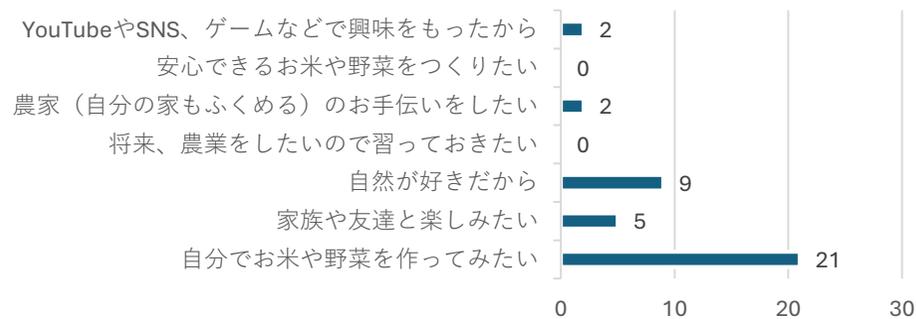
どのような農作業をしたい（どのような農作業ならしてみたい）と思いますか



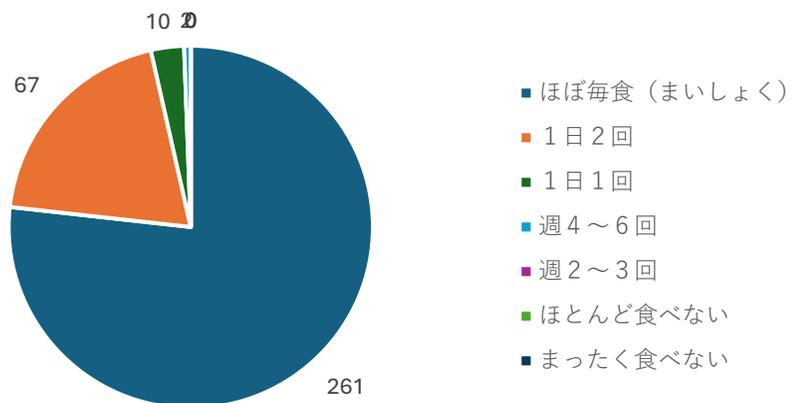
農業について、いつかしてみたいと思うもの



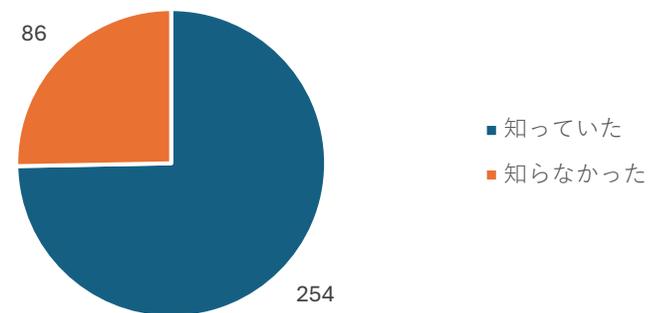
農業を「してみたい」、「少ししてみたい」理由



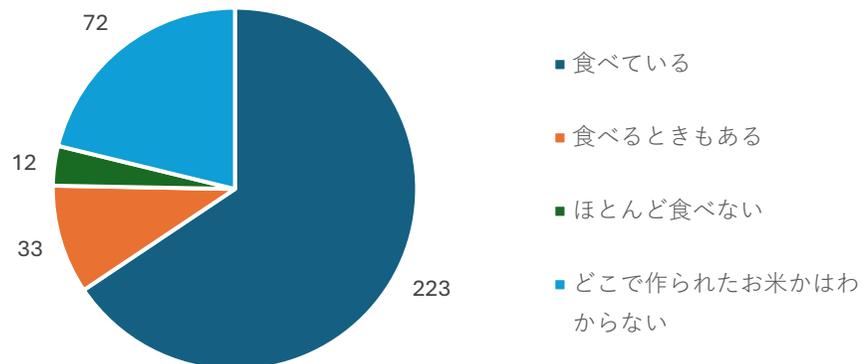
ふだん、お米を食べていますか



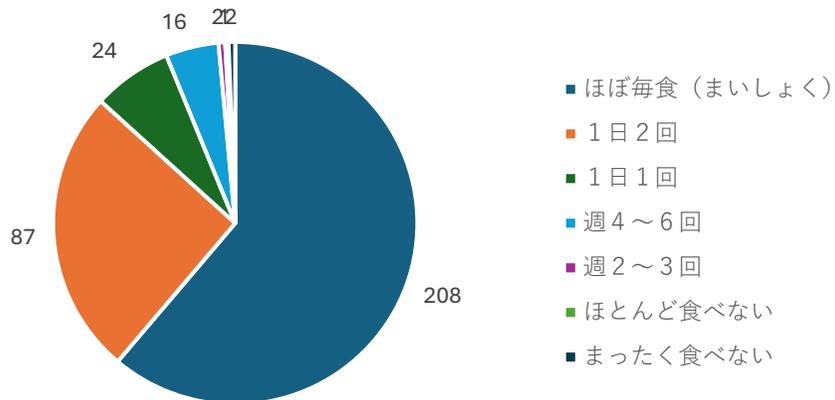
給食で提供されているお米は、すべて大野市で作られたコシヒカリ、いちほまれ ですが、知っていましたか



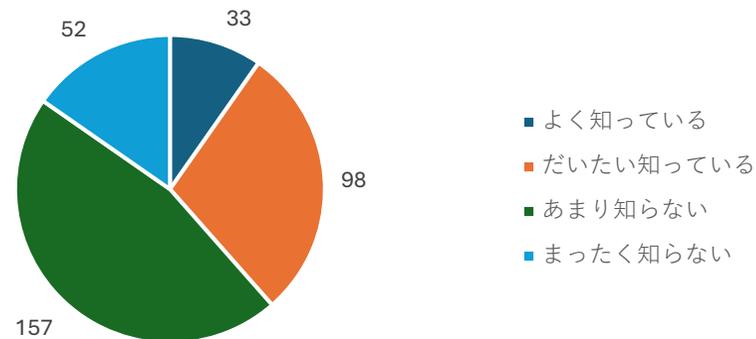
大野市で作られたお米を食べていますか



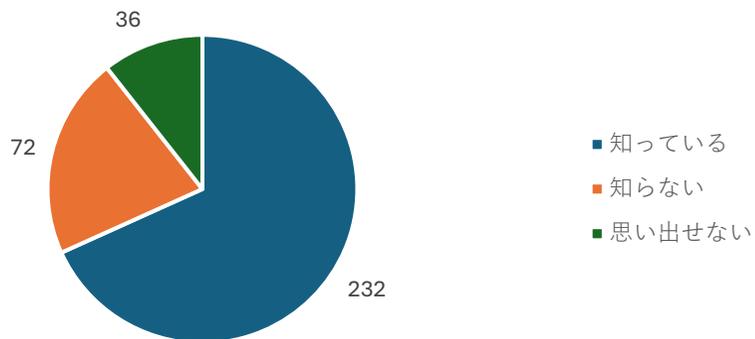
ふだん、野菜を食べていますか



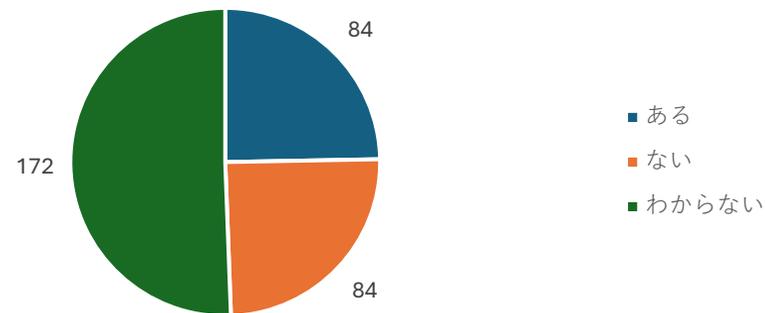
大野市で作られている野菜のおいしい時期を知っていますか



大野市ではどんな野菜が作られているか知っていますか

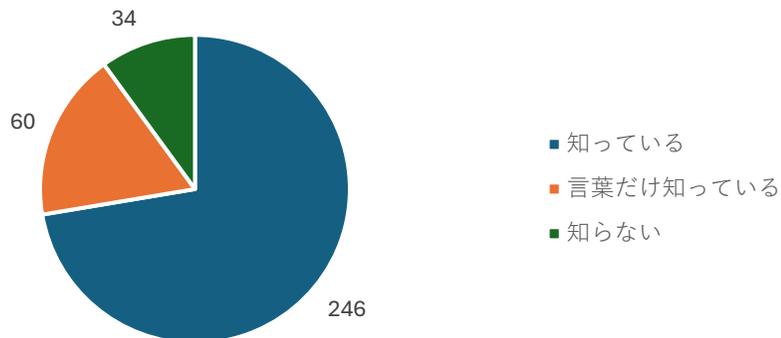


大野市の特産品になったらいいなと思う農作物はありますか

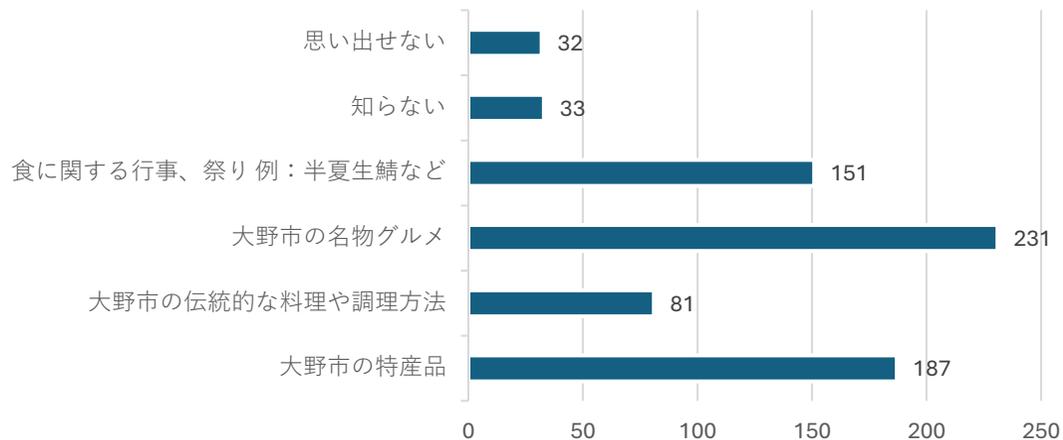


回答例：サトイモ、米、イチゴ、ぶどう、ナス、トマト、さつまいも など

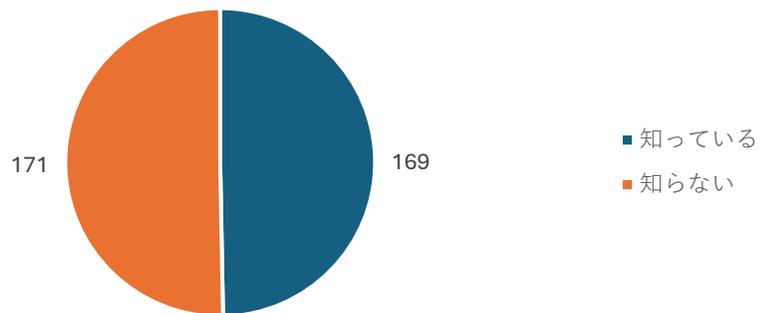
「地産地消」という言葉の意味を知っていますか



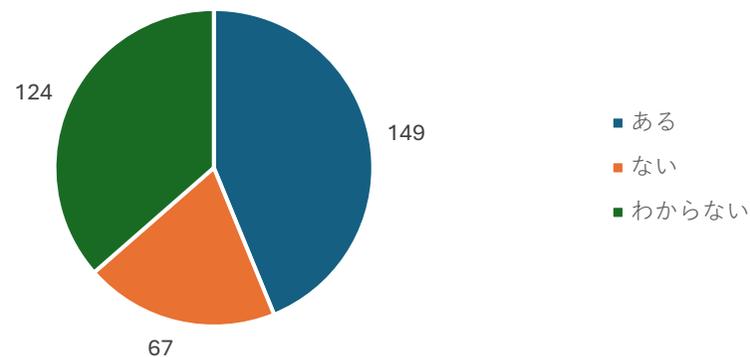
大野の食文化で知っているもの



大野市にどんな郷土料理があるか知っていますか

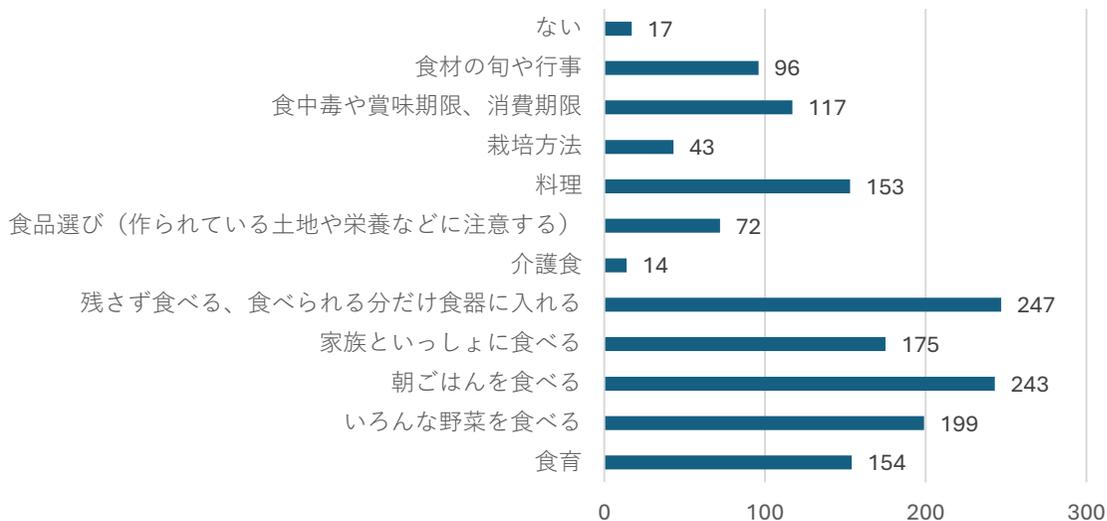


市外の人におすすめしたい大野市の食文化はありますか

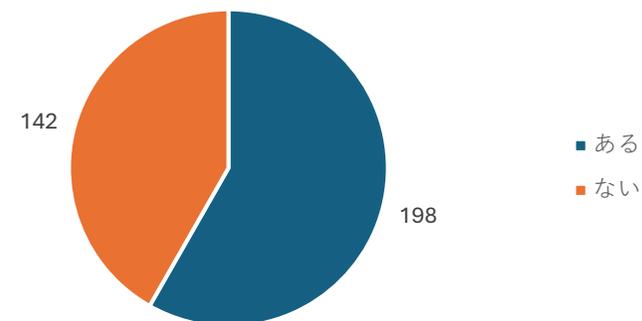


回答例：醤油カツ丼、そば、サトイモ、半夏生サバ、でっちゃん
とんちゃん、すこ、煮っころがし など

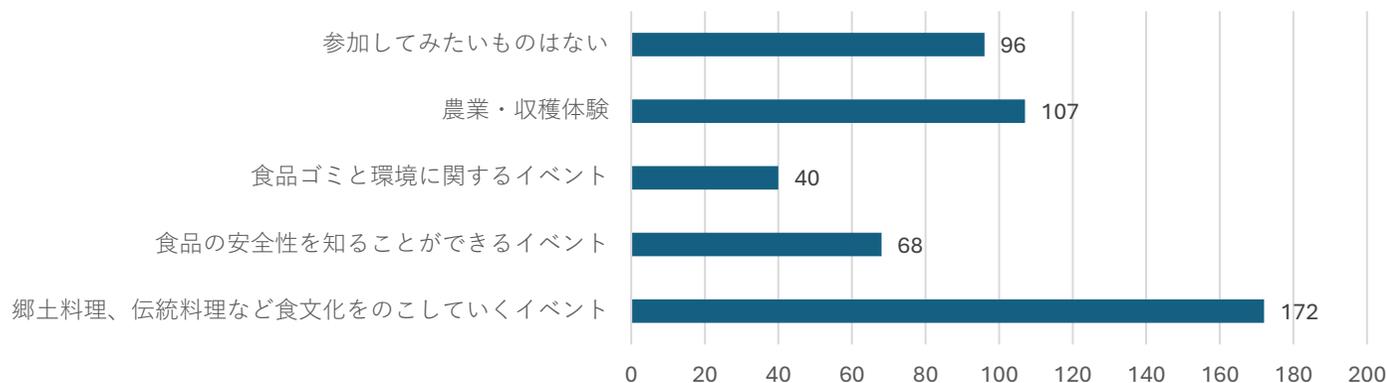
食について気をつけていること、興味があること



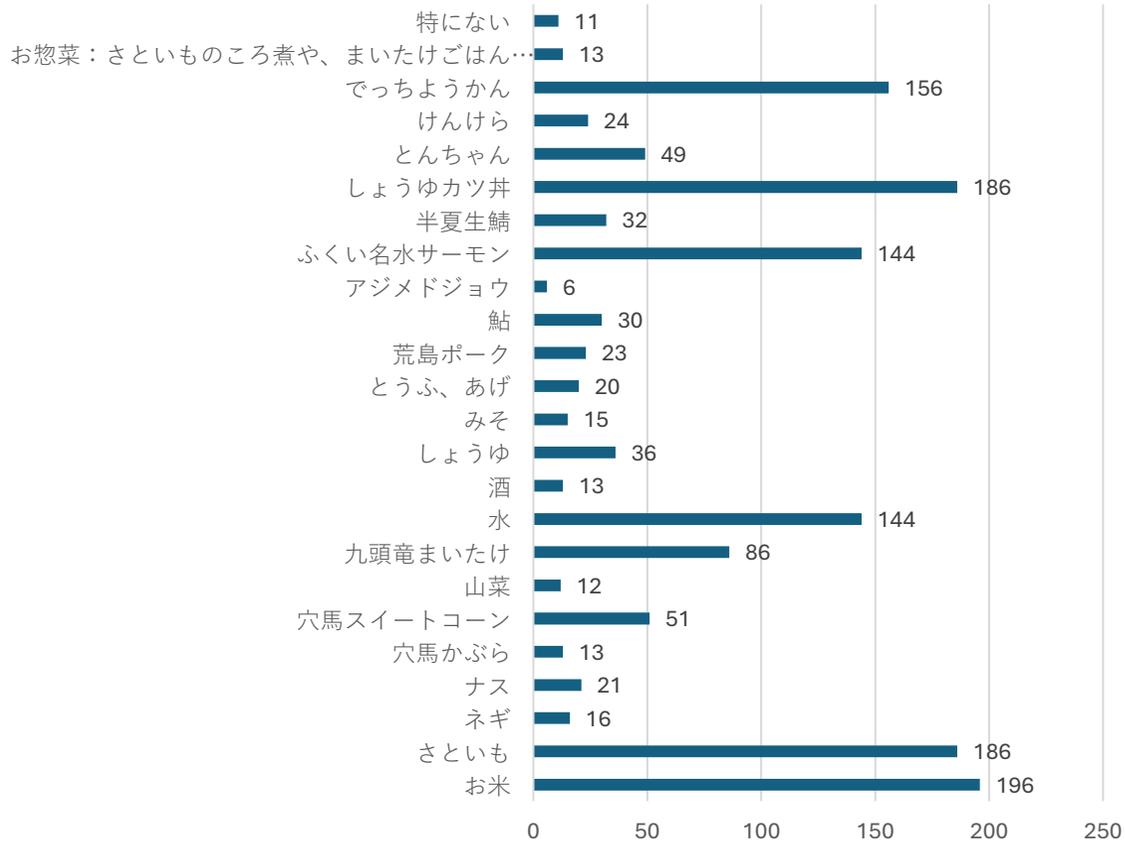
農業や食に関するイベントに参加したことがありますか



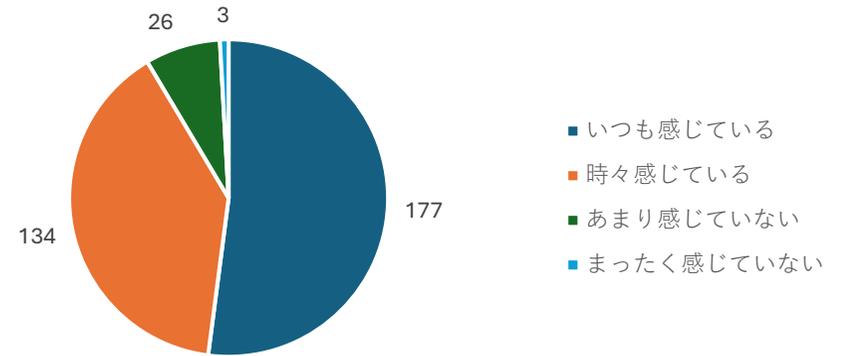
農業や食に関するイベントで参加してみたいもの



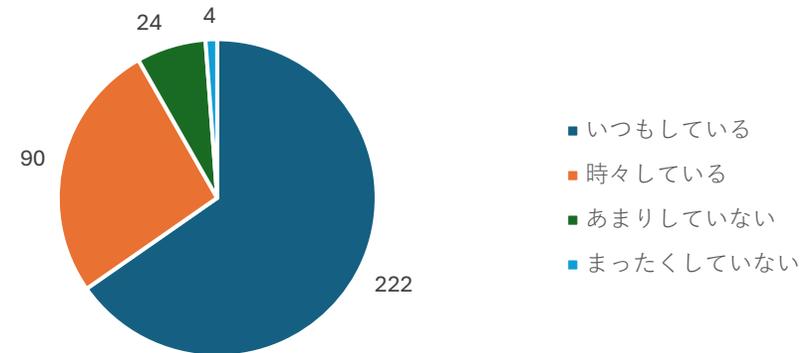
大野の食で市外の人に食べてもらいたいもの



日ごろから「もったいない」、「気をつけよう」と感じることはありますか



食べ残しや食品の廃棄をへらす努力をしていますか



農業や食、食文化等についてご意見

<食、食文化>

- ・もっと郷土料理の美味しさをもっと知りたい。
- ・自分達で育てたものを売ったり給食の材料にしたりしたい。
- ・もっと特産品を給食で出してほしい。
- ・給食に大野の郷土料理をもっと出してほしい
- ・給食で他の県の郷土料理を食べたい
- ・大野の食べ物は美味しいと思う
- ・これからも伝統的な食文化が残り続けていけば良いと思う。
- ・郷土料理をずっと残していきたい。
- ・食文化や郷土料理をもっと広めた方がいいと思う。
- ・心を込めて作ってくださったご飯を残すのはすごくもったいないし、悲しい気持ちになります。私は時々給食を減らせない時があります。その時はお腹いっぱいになるまで食べて、残すことはありません。ですがお腹いっぱい辛いと思いながら食べるのは食事を楽しんでいないなと思います。なので、減らしたい人が遠慮せずに減らせてみんなが味わって楽しんで美味しい給食を食べられるようにしたいです。私は学校などでみんなが楽しく自分に合った量の給食を食べられるようにするにはどうすれば良いのか話し合い、みんなで給食の時間を楽しみたいです。
- ・食品の廃棄がないようにしてほしい。
- ・食文化や農業がもっとたくさんの人に知ってもらって広がるように、食・農業について知ったり考えたりする機会を増やしてほしいです！
- ・県外出身の者です。大野市には数年前に引っ越してきましたが、美味しい食べ物がたくさんあると思います。
- ・これからも人々が安心して安全に食べれるようになって欲しい。
- ・道の駅に大野のさといもの煮っ転がしを追加してほしい。作ったら食べます。
- ・大野の食べ物は凄く美味しいので嬉しいです。
- ・市外や県外の人に、大野の特産品などを発信できるといいと思いました。(SNSなどを利用して)
- ・まだ見たことがない食文化を探してみる。

<農業>

- ・除草剤を無くしてお米などをつくって欲しいです
- ・できるだけフルーツなどの生産を増やして欲しい。
- ・植物などの栽培方法などを調べたり、育てたりする教科。
- ・もっと、農業体験を身近にしてほしい。増やしてほしい。
- ・コメをもっと生産させる努力をもっとして欲しい。例えば子供に体験させるなど子供に農業に興味を持ってもらうなど。
- ・もっとお米を作ってほしい 魚釣りのイベントを増やす。
- ・市外の人にも大野の野菜の美味しさを知ってほしい。
- ・農家も減ってほしくない。
- ・私たちの食べる物を作ってくださりありがとうございます。
- ・ゴミをポイ捨てしないようにしてほしい。
- ・農業をしている人がもっと儲かるようにしてほしい。
- ・他の県でもなすを売って欲しい。
- ・農業は生きるのに必要な事の1つ、食事の元になる事なのに軽視されすぎ。
- ・乗り物に乗って作業を終えた後道に葉っぱや泥がたくさん落ちているのでできれば気をつけてほしい
- ・農業に関することでのイベントは、どこででもできる。大野の地形や環境がいかに素晴らしいかも伝えてみたらより良くなるのでは(想定済みだったらすみません)
- ・大野市はお米とかが有名だからこれからも農家さんが減らないように頑張ってください！
- ・農業を始める若手世代の助成制度